

二年学習指導案

元気な子供

教師の目標 人々は健康を保持するためにどんな工夫をしているか
 児童の課題 体を丈夫にするためにはどんなにしたらよいか

学習内容	学習問題	社会科		理科		音楽			
		問題	学習活動	問題	学習活動	問題	学習活動		
手足の導入	梅雨期にどんな病気が起るか			今頃雨が降ったからどんなことが起るか	雨の来(雨ふり)にフッて結合 教師の説明(梅雨の状況と知らせる) 1.雨と井戸水 2.雨と湿度 3.湿度と菌類 4.菌類と生物 5.菌類と荷病 梅雨期にどんな病気が起るでしょう 1.中風 えきり せきり 2.傷みやす 3.発疹チアス マスト 4.畜生 5.その他			一郎さんばかり世帯になつたのこしよう(無芝居)	紙芝居の鑑賞 一郎さんは生水を飲んで病気になる ふよふよさんは汗して飲んだので元気にシーソーをして遊んでる 雨カト小れ シーソー
病気の原因	梅雨期になぜ病気が多いか	梅雨にはなぜ病気が多いでしょう	結合(社会科的原因) 程のいっつけをやらぬままりまもらぬ	結合(理科的原因) 色々な原因をあげる 衣 乾物の乾燥不十分なため 食 細菌繁殖のため腐敗しやすい 住 たたみ建具等湿度をおび不衛生となる	結合(自然科的原因) 色々な原因をあげる 衣 乾物の乾燥不十分なため 食 細菌繁殖のため腐敗しやすい 住 たたみ建具等湿度をおび不衛生となる	なぜ病気が多いかそれをましよう(田)	紙芝居によって指示をうた 原因を示す絵をかき 1.生水をのむ 2.生野菜 生魚 3.生きた魚 生きた野菜 4.くさった副産物 5.食マダツ アイスクリーム 6.手を洗わない 7.履き履きをしな 程のいっつけをやらぬ 8.梅雨の日はあつて風邪をひく 9.はえ蚊のばい菌 10.汚物からのばい菌 説明にまとめる		
病気の予防の対策	病気を防ぐにはどんな工夫が考えられるか	病気にならないようにするにはどんなことをしますか	結合 予防注射 大掃除 健康診断 予防給食 ワクチン 後援 それぞれの役目について話す お世帯の世話になつた役をしらべる	結合 社会の対策を自然科の対策 話し	結合 社会の対策を自然科の対策 話し	病気を防ぐ方法を絵にあらわし(田)	結合 予防注射(思想画) 大掃除 三宅先生(人物画)		
元気な子供になるための準備	丈夫な子供になるためにはどうしたらよいか	丈夫になるにはどうしたらよいか	結合 朝起きて学校に来るまで 1.早起き 2.歯を磨いて洗面する 3.食物をよく噛み砕く 4.便所に行く 5.履きをほし身体服装を清潔に 学校での生活 1.姿勢よく 2.通学時間には元気よく 日曜 朝マテから夕飯まで 1.手を洗つて食事を済ます 2.向夜の時間書を読み 3.巻膜により衣服を清潔にする 4.口のなまめをとり入れ 5.お風呂に入る 6.お風呂	結合 朝起きて学校に来るまで 1.早起き 2.歯を磨いて洗面する 3.食物をよく噛み砕く 4.便所に行く 5.履きをほし身体服装を清潔に 学校での生活 1.姿勢よく 2.通学時間には元気よく 日曜 朝マテから夕飯まで 1.手を洗つて食事を済ます 2.向夜の時間書を読み 3.巻膜により衣服を清潔にする 4.口のなまめをとり入れ 5.お風呂に入る 6.お風呂	自然科の結合をうす	元気な子供が畑	元気な子供について作詩 作歌する (既習の歌より曲を送りせよ)		
結果判定		件を丈夫にするかを判断させる 梅雨期の観(観察と話しで行う)	梅雨の観(観察と話しで行う)	梅雨の観(観察と話しで行う)	梅雨の観(観察と話しで行う)	紙芝居の鑑賞 思想画 人物画 ふよふの歌 シーソーの鑑賞			

三年生学習指導案

お医者さん

教師の目標 病気をなおすためにどんな工夫がされているか
児童の課題 私達が病気になる時どうすればよいか

学習内容	学習活動	社会科		自然科		芸能科		向題	
		向題	学習活動	向題	学習活動	向題	学習活動		
健康な身体	私達の学校の健康状態はどうか	健康部の調査はどんな状態を示しているか	1.発表 近頃の私達の学校の体の様子に付て 2.発表 近頃の病気と外傷 3.発表 原因調査 4.手当 体の身体 5.話し合い 病気をしなからまよめる					健康の歌音楽	
梅雨と病気	梅雨にどんな病気が起るか			梅雨とはどんなことか 梅雨は私達の身体にどんな影響をよめるか	1.近頃の天気の様子(梅雨)を計測し(何)季節ごよりの天気しらてい梅雨に付て話し合い 1.雨量多い 2.しめり気 3.4日 2.話し合い 雨の種類の付ても		梅雨の状況(梅雨)を絵に描こう 梅雨の景色(写生)梅雨の印象を一言一語に認識させる		
		病気の原因は何か	2.三谷先生の話をまき(施設の利用も含めて)				三谷先生の話を絵にしたらどうだろうか	四季の病気の	
病気になる時精神作用する施設	病気になる時どんな人やどんな物の世話になるか		3.話し合い 1.施設 2.人 3.活動 4.地域 1.お医者さんの見学 2.グループに分れて調査 (お医者さんとその専門医と話し合い) 1.お医者さん 2.お医者さん 3.お医者さん	梅雨の如し				1.絵を造る(お医者さん)個人作業 2.梅雨の創作 3.お医者さんシナリオ制作	学校を中 にして お医者 さん の 方 位 に あ る か
病気の予防	私達はどのように病気を予防できるか		5.話し合い					健康の歌	
効果判定			1.施設の理解 2.予備の目的達成度 3.健康の手まりを作る		1.原因と病気の関係 2.雨量計の利用 3.梅雨の病気の原因		1.観察録 2.表現力 3.要約図 4.紙糊工 5.工作処理 6.二拍子		

四年学習指導要領		予防注射		教科の目標 授業の課題		人々の協力して病気を防ぐためにどんな工夫がされているか おこなったこととして病気を防ぐにどうしたらよいか	
学習内容	学習問題	社会科		自然科		理科	
		問題	学習活動	問題	学習活動	問題	学習活動
梅雨期の衛生状態 (天気と衛生)	梅雨期にはなぜ高熱が多いか	梅雨とはどんな季節か	1. 総合発表会 A 科学部 梅雨の天気について 梅雨の天気予報 梅雨の天気図 B 健康部 最近の衛生状態 梅雨の天気予報 梅雨の天気図 C 教師 昨年度の梅雨期の衛生状態の調査結果をグラフに表して発表		梅雨計の見方 天気計の見方の説明		音楽 田植
本町の衛生状態 (地域環境と衛生)	本町の衛生状態はどうか	本町ではどんな衛生状態があるか	4. 本町の衛生状態の調査 (グループ活動) 簡単な図に表わす 写真 道路 河川 緑地 学校 社寺等	本町の衛生状態はどうか	調査結果のまとめ 本町の衛生状態の調査結果のまとめ 本町の衛生状態の調査結果のまとめ		
伝染病発生中の予防の理解	伝染病発生中の予防の理解	伝染病とは何か	5. 調査結果の発表 (グループ)	伝染病とは何か	伝染病発生中の予防の理解		音楽 歌 (歌詞は二三年生で作った曲かをもうたとき には利用して可なり)
予防対策	伝染病を予防するためにどんなことが行われているか	伝染病を予防するためにどんなことが行われているか	6. 伝染病を予防するためにどんなことが行われているか	伝染病を予防するためにどんなことが行われているか	伝染病を予防するためにどんなことが行われているか		
効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定		

(注) 伝染病の予防には、おこなったこととして病気を防ぐにどうしたらよいか

代用な社会生活を営むためにどんな工夫を凝らしているか
 風光な町をつくるには どうしたらよいか

研究	問題	学習活動	内容	学習活動	問題	学習活動	資料
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	本町の地形図 (城山の上より) 夏は夏始	城山の上にて「ニめいめ いの歌」(丘の上)を取 扱う(感情表現に差を 置く)					国土院(国研期 国語中P.12-14) 合衆 P.1+15
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	町では何 の人がど んな風 な生活 を営んで いるか	作文 郷土の衛生 (川口の子供の表現技術 参考 室長 説明文)		町では何 の人がど んな風 な生活 を営んで いるか	町では何 の人がど んな風 な生活 を営んで いるか	国土院P.4+0 毎日新聞P.346 国語中 P.4
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	貯水池の面 積及水深は どのくらいか			貯水池の面 積及水深は どのくらいか	貯水池の面 積及水深は どのくらいか	国語指導要領 P.66-67
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	注方都市に 対する人口 の割合			注方都市に 対する人口 の割合	注方都市に 対する人口 の割合	
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	水源地に 設置された 貯水池の 関係			水源地に 設置された 貯水池の 関係	水源地に 設置された 貯水池の 関係	国語中P.55
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	か、はえの観察記録 (少年少女科学社の誌 か、はえ参考)			か、はえの観察記録 (少年少女科学社の誌 か、はえ参考)	か、はえの観察記録 (少年少女科学社の誌 か、はえ参考)	国語指導要領 P.12-14 毎日新聞 P.346 国語中 P.4
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	原語の作製 (国語 再の中参照)			原語の作製 (国語 再の中参照)	原語の作製 (国語 再の中参照)	国語中P.52 国語中 P.51
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	五年生の習字 P.11			五年生の習字 P.11	五年生の習字 P.11	五年生の習字 P.11
水を集めて 水の区別 ルを合んでいる	水源地にて学生 水道設備の模型(模型工 主として水源地と貯水 池の関係)	国語の構成 (形及色の配合) 工具及材料の扱い方 「一八調長音」の差と兼語 音の 和声 歌の記憶	説明文 標語 新編文の鑑賞		国語の構成 (形及色の配合) 工具及材料の扱い方 「一八調長音」の差と兼語 音の 和声 歌の記憶	国語の構成 (形及色の配合) 工具及材料の扱い方 「一八調長音」の差と兼語 音の 和声 歌の記憶	小教習字の意味の理解及計算の 理解 割合を表わす能力 加減五入の理解 平行線の理解 四辺形の理解

六年生学習指導案

教師の目標 人間の病氣から防ぐための科学と通信の力
児童の目標 病氣の発生を通信から守るためにはどうしたらよいか

学習内容	学習目標	理科		自然科		公民科		備考
		問題	学習活動	問題	学習活動	問題	学習活動	
通信の意味	私達のまわりになんが通信が行われているか		1.通信調査 各自行う 2.発表 整理					通信の中で病氣に因るものがどれだけの割合か
		本家の病氣があるという理由	3.話し合い (1)原因と結果が判っているもの(非合理的な方法) 例1.2あげて研究	コレラの発生と伝播面と判っているのにおがむ 寄生虫の発生と伝播面と判っているものに区別にかからずおがむ			1.図表に表す 明確しく簡明の表現の色	この結果は如何にあそぶか
			(2)原因と結果がよく判っているもの(ありまじい) 例1.2あげて研究 お医者さんに話をきく	科学がまだ進んでいない 科学と神様参事 科学の進歩によつて解決するより外ない				
身体を守るための科学の発達	科学はどのように通信にうちみつてきたか		5.病原菌を発見した偉大な人々の研究資料を準備 (1)本を読む (2)話をきく	病原菌とは何ぞい どんなものか 寄生虫 3.身体の中 どこで どんなに お達りか お茶考(読書) お茶考は自然は原因結果からなる秩序の連鎖からなつてゐることの認識 5.自然の最初の方法性の発見を考へ			2.鑑賞(自然美・自然科学的) [病原菌の図や写真] 顕微鏡で見る (1)美的情報 3.風景写生 (自然の秩序—整理) 解るための 4.影絵・色彩・明暗・透視を 図案に描写 (よく観察) (2)自然美を味わせる (3)水色具の使用	
		時代 19世紀初期 微生物がわくと云ふ 18世紀後期 イザリス人 種痘 通信との斗争 野口英世 20世紀初期 日本人 黄熱 南米で斗争 北米 20世紀初期 日本人 放傷風菌 ドイツでコッホに						

と通信の手段
にどうしたらよいか

教科	算 数 科		算 数 科		国 語 科		資 料	社 会 課 題 反 行 記
	問 題	学 習 活 動	問 題	学 習 活 動	問 題	学 習 活 動		
			通信の中で 偏偏に用い るものがど れだけある か	1. 折形グラフ 分教記念 約分 整数に分教の計算			算数第 1 P.32	
この発生と伝播 を判つてい るものが とせの発生と伝播 を判つてい るの に 違 い に か ら ず な ら ぬ		→ 1. 図表に表す 用正しく挿入 的説明的表現 の色	この結果は 如何にあそ ぶかわ	2. 倍数の配列(等比級数 の初歩) 1人の通信者から 始る 細胞分裂 (図式によりとく)		→ 1. 知識と通信の研究 真理参考 (1) 通信の語彙の検討 (2) 内容把握	国政書 P.8 国工指掌 P.85 養生堂 国誌 法華堂	近畿南丹東 衛生堂
字がまだ進んで ない 科学と神祕参考							自然1くみ P.46	
この進歩によつて どうなるより外ない							中学志生	編者会
[国政書]				3. 単位 小さい入まの単位 (マイクロン) 顕微鏡の倍率 面積と長さ(1 ²) の関係			栗田博士 微生物学見聞録	読書会 衛生思想 会
この発生を参考 して で 何 れ が 原 因 結 果 の 連 鎖 か ら と 考 へ る こ と の 難 し さ を 初 め の 法 則 は の ど う な ら ぬ		→ 2. 編查(自然美 自然科学的 [魚の目の田や模様] 顕微鏡で見ると (1) 美的模倣 3. 風景写生 (自然の秩序一層理) 解のため 用形 色彩 明暗 陰影 2 設定に留意 (よく観察) (1) 自然美を味わせる (2) 水色具の使用		→ 4. 分教(分教記念を一層 明瞭にする) (自然の秩序にんしき) させる 木の芽から生れた 分教参考			理科第 1 P.13 日本少年国民文庫 巻第 16 之 目録理科第 6 P.17 国工指掌 P.31	

					<p>4. 創造的表現 (1) 独創的表現 (2) 批判的表現 (3) 総合的表現</p>
		<p>人間の歴史の中に 新しい科学的時代 を開きこくた偉大 な科学者の感動</p>			
科学的な荷葉 片断	<p>私達の身体を基 礎から作るには どうしたらよい か</p>	<p>「総合」 (1) 通信と科学の相違に ついて再考する (2) 両者になつた時科學 的に対策を案出する (3) 早期診断 原因追求 (4) 病態予防のための 科学的対策</p>			<p>5. エスター 通信から香々の身 体を解放する 伝染病防止のため (1) 平面圖案の模写 (2) エスターの力</p>
	効果判定	<p>1. 通信と科学の相違 2. 科学者が通信と如 何に斗つたか 3. 調査整理</p>		<p>1 2 科学に対する理解 3 学生或は公衆前に行つ て自然法則に対する理解</p>	<p>1. 図案 2. 学生（風景） 3. 自然科学的入の鑑賞</p>
	備忘				<p>音楽がさいなまき音楽 教師と連絡の上 緊密な連絡の上 実施 工作は自治活動に多く 指導を要するものと せず</p>

<p>4 紙三層 分冊巻に作製 の紙画的表現 向数期的表現 の色彩感覚</p>				<p>3 説明文 ① 陶器の科学的な 記述 茶わんの湯呑 ② 日記文 どんなところ えらひか等の記述 お母さんの前文 ③ 雑誌の結核の記述 科学の進歩によつて 新しい平和の世界が ひらかれてゆく ④ 偉大な科学者の光 見に依つて世紀の 若し 夜明けを 国教書 R 62 国教書 R 4 国教書 R 73</p>	
	<p>5 ポスター 迷信から香々の身 体と解放する 癌予防のため ① 平面図案の構成 ② 工夫考案の力</p>			<p>4 挿話 国教書 R 73</p>	
<p>1 図案 2 写生(風景) 3 自然科学的表現の鑑賞</p>		<p>1 折形グラフの描き方 2 分岐の観念及計算能力</p>		<p>1 説明文 2 記述文 3 結核の理解 4 演劇一般の研習(お母)</p>	
	<p>音楽起すいなまは音楽 教師と連絡の上 茶室な連絡の上 実地 工作は自治活動に多く 指導を受けること が大事</p>				

275
276

ADULT EDUCATION IN DEMOCRACY

Contents of Course

How are taxes dealt with and spent?

Food Problem.

New Education (Aim of education in a democratic nation).

Individuals' Health and Sanitation (Nutritious dishes).

Enactment of economic laws, trial system and criminal Procedure
Elevation of women's status and position.

Scientification of living and its rationalization, and democratization of home.

Training of Instructors:

Guidance was given to the problems concerning the management of Social class at the announcement meeting of the results of researches and studies of P.T.A.

Statistics:

Number of social class in City, towns, and villages investigated.	20
Number of social class in communities (buraku)	38
Number of lecture on the course	67

Attendance: Men 612 Women 1002 .

Methods of Instruction:

Lecture, Discussion (Panel and Symposium), Film, Paper-show and Slide.

Evaluation of effectiveness:

Great influence and effect made.

Reception of course by communities:

Favourably received.

COPY

276
 F[ⓔ]-445

SOCIAL EDUCATION CONFERENCE

Content

1. General Information	Page 1
2. Program	Pages 1 - 2
3. Summary of Lecture by Dr. Cologne and Group Discussion on "Problems of Women's Organizations"	Pages 2 - 4
4. Lecture by Dr. Cologne and Discussion on "Adult Schools and Classes"	Pages 4 - 8
5. Lecture by Dr. Cologne and Discussion on "Organization, Function and Activities for Parent-Teachers Associations"	Pages 8 - 12

COPY

C O P Y

SOCIAL EDUCATION CONFERENCE

1. General Information

a. Lecturer on all branches of Adult Education (Parent-Teachers Association, Adult Schools, Citizens Public Halls, and Women Organizations) -- Dr. Rose Cologne, GS-13, CI&E SCAP Consultant.

b. Itinerary:

5 April 1010 - Arrival Hakata
5, 6, 7, 8 April - Fukuoka
9 April 0435 - Departure from Hakata

c. Place: Fukuoka Prefecture Employees' Hall, Fukuoka

d. Participants:

5 April PM - Social Education officials (Kens, cities & towns) connected with women's affairs - 32.

6 April - Social Education officials (Kens, cities & towns) connected with adult schools - adult classes and Citizens Public Halls - 35.

7 April - Social Education officials of Kens, cities & towns connected with Parent-Teachers Associations - 25.

e. Purpose: To acquire a deeper understanding of adult education in each of the phases in which the attendants were engaged with special emphasis on budget, program planning and leadership training.

2. Program

a. 1st day (Thursday) 5 April 1951

Subject: Women's Organizations

1300 - Opening Remarks by Mr. Sobei Nakao, Superintendent of Schools

1310-1500 - Lecture - Dr. Cologne
Topic: Organization, Purpose and Suggested Activities for Women's Organizations

1500-1510 - Recess

1510-1600 - Discussion

1600-1700 - Question and Answer Period

b. 2nd day (Friday) 6 April 1951

Subject: Adult Schools and Citizens Public Halls

C O P Y

C O P Y

0900-0910 - Opening Remarks by Mr. Sobei Nakao, Superintendent of Schools
 0910-1030 - Lecture - Dr. Cologne "Adult Schools and Adult Classes"
 1030-1040 - Recess
 1040-1200 - Discussion
 1200-1330 - Lunch
 1330-1500 - Lecture - Dr. Cologne "Citizens Public Halls"
 1500-1600 - Discussion
 1600-1700 - Question and Answer Period & Personal Interviews

c. 3rd day (Saturday) 7 April 1951

Subject: Parent-Teachers Associations

0900-0910 - Opening Remarks by Mr. Sobei Nakao, Superintendent of Schools
 0910-1030 - Lecture - Dr. Cologne. Topic: "Organization & Purpose of Parent-Teachers Associations"
 1030-1040 - Recess
 1040-1200 - Discussion
 1200-1330 - Lunch
 1330-1500 - Lecture - Dr. Cologne "Correlation between PTA Budgets and Activities"
 1500-1510 - Recess
 1510-1600 - Discussion
 1600-1700 - Question & Answer Period and Personal Interviews

d. The majority of the attendants were a different group each day except for Ken and city social education chiefs who attended all the sessions.

e. The adult education officer attended all meetings and other CE personnel attended frequently.

3. Summary of Lecture by Dr. Cologne and Group Discussion on "Problems of Women's Organizations" - 5 April.

a. Peace treaty will bring many problems.

- (1) Many such problems can be solved through education.
- (2) Educators in any country have not had important enough part in solving these problems.

b. Most important part of education is social education.

- (1) Education of children, youth and university students is important but there is a great need for more adult education as the great decisions which affect the home, community, the nation, and the world are being made by the adults, not

C O P Y

children or the youth.

- (2) The educational level of the adults determine the cultural level of the community.
- (3) To help the children we must first help the parents.
- (4) Each year brings new problems in which a person needs new information in order to solve them, so we need continuous adult education.

c. The planning of a curriculum for social education is more difficult than school education.

- (1) When social education people see problems, they must realize that through education these problems can be solved, so plan curriculum accordingly.

(a) Must often work with other agencies to solve problems.

d. How to raise cultural level of women:

- (1) First teach women how to manage homes and jobs so that there will be time for study.
- (2) Educators must provide opportunities for raising the cultural level of the women.

e. To interest women in social education activities is the responsibility of the adult educators.

f. The kind of activities which will help to improve women:

- (1) The first step is to teach them to express ideas clearly.
- (2) Social education must give the women information that will make them better wives and mothers, or help them earn a better living if working.
- (3) Women must be taught how to solve problems outside the home.

g. The kind of program best suited to the women of a rural community:

- (1) The kind of activities to which the women best respond.

h. Some important things to teach the women of Japan:

- (1) Home improvement, kitchen improvement, improved cooking and diet, sewing, and flower arrangement.

COPY

(2) The "School Lunch" has been an excellent project to change food practices in Japan.

i. Community problems that women should be interested in:

- (1) Behavior of children and young people in the community shows best evidence of poor or good home discipline which is mainly the women's responsibility.
- (2) Old saying is true, "Show me what the people do in their leisure time and I can tell you what his character is".

j. How can women learn to take an active part in politics?

- (1) By their work in social organizations.

k. How should leadership training courses be conducted?

- (1) Train people first in job analysis, then train them in the duties.
- (2) Determine content of the training by the following method:

Topic	Question	Problem	Method	Teaching Aids
-------	----------	---------	--------	---------------

- (3) Use activities in which the individual is going to participate.
- (4) Have participants observe the methods they are to learn, then practice them.

l. How can we democratize the home?

- (1) Each member must realize there is no superiority as to sex.
- (2) Each individual is important because he is a human being.
- (3) We must also realize that no race is superior to the other.

m. Activities for a liaison council.

- (1) Take a project that no single organization could do.

4. Lecture and Discussion by Dr. Cologne 6 April 1951 on "Adult Schools and Classes"

- a. It is always difficult to obtain money for social education as

C O P Y

obtaining an education and going to school is associated with children in the minds of many people.

b. Sweden has raised its economic level greatly through adult education.

c. England has raised the educational level of its laborers through adult education.

d. Great sacrifices are being made in Japan, according to its economic conditions, for education.

e. Check the forces in your society that hinder the movement for social education and the forces that are advancing it, then plan accordingly.

f. A survey was made by Dr. Thorndike in the States on ability of older people to learn new things and a research on adults' educational interests which greatly assisted our adult educationalists in planning curriculum.

(1) The kind of curriculum we offer to adults still interest only a small percent in Japan.

(2) Our methods of teaching are often unsatisfactory to adults both in U.S. and Japan.

g. Development of adult education in the U.S.

(1) The women's organizations in the U.S. increased as the women felt their need for more education.

(2) All the forms of adult education, now existing in the U.S., have developed from the peoples' desire for more education.

h. Questions asked by audience.

(1) Do experts in their field in the U.S. continue to study?

Answer: The universities and colleges in the U.S. had to change their curriculum to fit the adults who desired additional education.

(2) What are the blocks to social education in Japan?

Answer: (a) Social education is too closely tied to politics in Japan.

(b) Not enough substance in social education; not enough of the real things in the programs and curriculum that the people really want.

COPY

(3) Give suggestions for curriculum planning for CPH classes and courses.

Answer: (a) Main headings for Courses:

Law & Govern- ment	Health	Culture	Vocational Subjects	Civics	Welfare
Recreation	Family Life which includes food, shelter, clothes & human relationship			Safety	
Literacy	Rehabilitation				

(b) Check the following points in making the curriculum:

- Length of course.
- Length of vacation between semesters.
- Lapse of time between classes.
- Have short courses; then give the class the second or third time on a different level.

(4) To what extent can surveys be used in program planning?

Answer: (a) A certain amount of surveys is all right. Most successful adult program occurs when the subjects given are what the people want. At this point the successful educator doesn't stop; he goes from what the people want to what they need if they aren't the same.

(b) Be sure the people understand a question before they vote on it. This is very important in making surveys.

(c) Give the people the opportunity and freedom to think and the decisions of the majority won't be too far wrong.

(5) How should CPH leaders be trained?

Answer: (a) Observe what you are doing critically. Watch results and make changes when and where it is necessary.

C O P Y

- (b) Have conferences where the leaders can exchange ideas.
- (c) Watch methods of publicity on adult school and classes.
- (d) Hold training meetings for teachers of adults so that they will have a feeling of belonging together.

(6) How may we secure good cooperation between the CPH and other social organizations?

- Answer:
- (a) Make the CPH facilities available to more people.
 - (b) Think of the CPH as a cultural center; have good programs that the people wouldn't have the opportunity otherwise to hear or see-- not just lectures but also dramas, concerts and plays.
 - (c) The CPH should be the educational center for all ages.
 - (d) Provide training courses in the CPH for leaders of all social groups.

(7) How can we improve the cultural courses for youth?

- Answer:
- (a) First, give them vocational training so they can earn a living; then from that stage develop the cultural subjects such as international relations, music, drama, art, etc.

(8) How can we develop a textbook for adult courses?

- Answer:
- (a) Pamphlets are best now as the Japanese have had little training in writing books for adults.
 - (b) Suitable books for adult classes have only recently been compiled in the U.S. at Columbia University by a Committee of 12 experts in adult education.

(9) How can we relate regular courses with informal adult training?

- Answer:
- (a) We should educate adults and youth together as this integrates the youth into adult living.

- (b) The main difference is the length of the course.
- (c) The adult school as well as informal classes should come under social education, not school education.
- (d) The "Adult Handbook" on adult education for use in adult schools will soon be ready for use.

(10) Explain how to divide the budget and responsibilities among the main CPH and its branches.

- Answer:
- (a) First, it should be spent for teachers' salaries, then for equipment. A good teacher is the greatest asset for adult education in the CPH and adult schools.
 - (b) The CPH and adult schools must not be a competitive force in the community.

(11) How should the local government and the CPH correlate its adult classes and schools?

- Answer:
- (a) An adult school must be planned for the community, then decide what part can be done best in the CPH and the part that can be done best by the local community outside the CPH.
 - (b) There must be cooperation and not competition between the CPH and adult school (city-supported).
 - (c) If the social education section does not establish adult schools, then the school education section will, as the people want and need them.
 - (d) CPHs, adult education and adult schools all should come under social education, not school education section.

(12) What do you do in the U.S. to reach the people who do not belong to any organized group?

- Answer:
- (a) We do not have enough social education personnel to reach these people as it must be done personally, so we in the U.S., have not been able to overcome this problem.

5. Lecture and Discussion by Dr. Cologne 7 April 1951 on "Organization, Function and Activities for Parent-Teachers Associations.

a. Important problems in Parent-Teachers Associations:

C O P Y

- (1) The constitution must be a good one as it is the framework of the PTA like a frame around a picture.
 - (2) The program of the PTA is the heart beat; the life giving part of the PTA.
 - (3) Without effective leadership training we cannot have a good PTA.
- b. Need for evaluation of the PTA work.
- (1) Whatever we do we must stop and check the value of it.
- c. The PTA is an organization to provide better communication between parents and teachers.
- (1) Much misunderstanding in the community, nation and world is lack of proper communication; that is, we don't understand each other's problems because we don't know them.
 - (2) The relationship between these ideas and the PTA is that there is a strong need for better understanding between parents and teachers which can only be done through the PTA.
 - (a) This need is especially felt now when there has been so many changes in school education.
 - (b) The Japanese child is caught in the middle with the parents teaching one way and the teachers another.
- d. The emphasis in PTA activities is "What is good for our children."
- (1) This might include the following:
 - (a) More adequate salaries for teachers.
 - (b) Parent education.
 - (c) We must not have the child pulled in different directions by teachers and parents so that he will go out into the world a confused individual.
 - (2) We, as educators, must develop abilities and skills to bring parents and teachers together, especially where there is conflict.
 - (3) In the U.S. the principals who have most successfully changed the curriculum have been those who worked the closest with the PTAs.

e. Number of meetings a year.

- (1) There is a strong need for monthly meetings as the people must have time to learn to communicate together.

f. Discussion of questions submitted by each ken in advance and also by attendants.

- (1) How should the PTA budget be divided?

Answer: (a) The evaluation of the budget is the best means of evaluating the work of the PTA; in this manner we can best decide whether the PTA is an excellent, good or poor PTA.

- (b) The budget is and should be thus divided:

(1) PTA Business stamps, stationery, etc.	(2) Equipment, school supplies, library building, etc.	(3) Welfare of children
(4) Leadership Training	(5) Parent Education	(6) Teachers' salaries, In-service training, etc.

- (c) Evaluation of this allotment of budget.
- (d) No. (6) should not be in the budget as all of teachers' salaries should be paid from public taxes. The teacher should be free from the control of the PTA.
- (e) The educators should be running the schools of Japan, and not be influenced by any outside factors.
- (f) Analyze the budget by figuring percent to be spent on each of the five headings, no support on sixth if possible.
- (g) Welfare of children is a significant part of any PTA budget analysis.
- (h) Many PTAs stop with (1) and (2), others with (3), some include (4), but the best take in (1), (2), (3), (4) and (5).
- (i) The PTA program is the thread that runs through all the budget headings.

C O P Y

(2) How should PTA leaders be trained?

- Answer: (a) Training of leaders is important as they should be changed often, for in a democratic society many people should learn what it is to be a leader and what it is to be a follower.
- (b) Being a leader is one way to make an adult feel a sense of responsibility.
- (c) Leadership training should be a continuous program in the PTA.

(3) Who does the leadership training?

- Answer: (a) Some is done by the PTA; other parts should be done by the adult education specialists.
- (b) In Japan the social education educators should help with (4) and (5) in the budget.
- (c) It is a responsibility of the educators in Japan to see that the leaders of social organizations realize their responsibilities in a democratic society.

(4) Explain the need for No. (5) parent education.

- Answer: (a) The need for this training has been in part previously explained.
- (b) This is the weakest part of the PTA program in Japan, the same as it was in the U.S. for many years.
- (c) Now in the U.S., if we only have a small budget we buy pamphlets for parent education for a better understanding of family relationships.
- (d) The social education people can perform a real service to the PTA by having a packet of pamphlets available on "How Parents May Better Understand their Children" to lend to local PTAs for adult education classes.

(5) To what extent should the PTA pay for the equipment of the school and teachers' expenses?

- Answer: (a) Active PTAs try to educate the school boards to take care of these things but still the PTAs need to assist in many cases.

C O P Y

(b) No. 6 should also be paid by the board entirely from public tax money.

(6) Should the PTA spend some of its money for training of volunteer leaders for youth groups such as 4H clubs, Boy Scouts and Girl Scouts?

Answer: (a) Yes, parents should cooperate in these activities for their children.

(b) Some members of the PTA might volunteer to be leaders in one of these groups, and give of their time perhaps two hours a week.

(7) In the U.S. how can the PTAs afford to carry out all 5 of the items in the suggested budget and still have low dues?

Answer: (a) We do not need as much money as other organizations. In addition, there are no contributions from the outside.

(b) The PTA carries out one or two large projects a year to make money, for example, art exhibits, school carnivals, bazaars, etc.

(c) Consider carefully the best way to spend your money in order to derive the most benefit for your organization.

(8) How can we have volunteer membership in Japan.

Answer: (a) It is hard to teach Japanese the real meaning of membership in U.S. PTAs where it is voluntary.

(9) What are the activities of U.S. PTAs?

Answer: (a) Activities are countless and different according to each group.

(b) No charge is made for attending monthly meetings.

(c) All PTAs have some form of entertainment often such as amateur plays, movies, etc.

(d) All gambling activities are undesirable for PTAs.

COPY

(10) Is it advisable to have honorary members or advisors?

Answer: (a) No, it only shifts responsibilities. An advisor or honorary member is apt to go too far in the management of the PTA which isn't democratic.

(11) How can the PTA reach parents of pre-school children?

Answer: (a) By pre-school study groups sponsored by PTAs.

(b) PTAs in the U.S. sponsor summer round-ups of all children who are entering school in the fall. They are given a physical examination so the defects can be corrected during the summer. If the parents can't afford it, the PTAs take care of it from the Child Welfare Funds.

(12) Do fathers attend PTA meetings in the States?

Answer: (a) The young fathers attend as often as possible, because they were reared in homes where the mothers were PTA members.

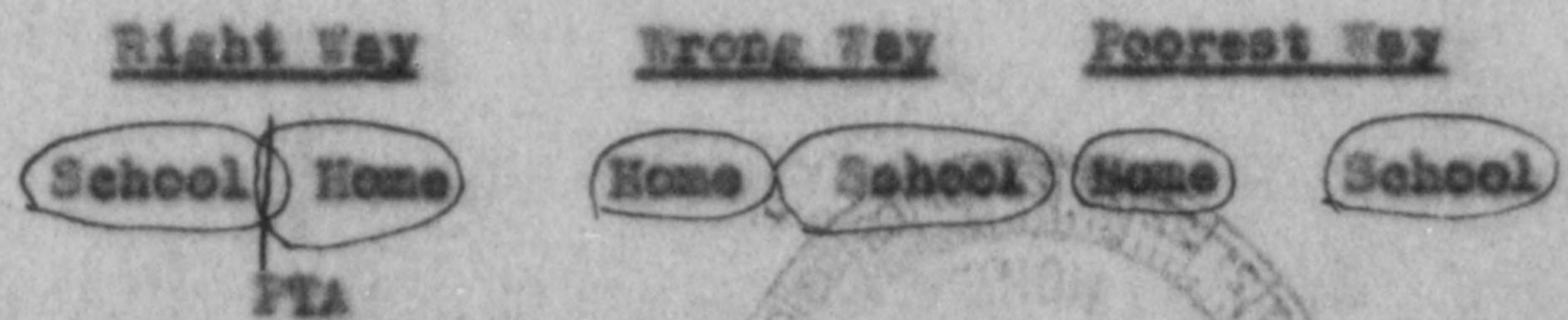
(13) Explain the difference between individual membership and group membership for the National PTA Federation.

Answer: (a) It should be the same in Japan as it is in the States. When we join the PTA we receive a card which shows we belong not only to the local PTA but also to the State and national associations.

(14) Do PTAs interfere with school management in the States?

Answer: (a) We have had PTAs for 53 years in the U.S. and we still have that problem.

(b) The right and wrong ways are shown by graphs.



(c) It is equally bad for a teacher to interfere with the home or a parent to interfere with the school.

11-372

ADULT EDUCATION WORKSHOP

F
600

Period: May 15 - May 27 1950

Place: Ueno Museum (National Museum and Science Museum)

Participants: Chiefs of Social Education Section of 46 prefectures and 6 main cities and also assistant chiefs of the same numbered about 100.

The content of the workshop can be classified as follows:

- 1 - Theoretical Lectures
 - a - Principles of Adult Education
 - b - The Position of Social Education in the Field of New Education
 - c - Education and Community Life
 - d - Educational Sociology
- 2 - Various Phases of Social Education
 - a - Audio-Visual Education
 - b - Vocational Education
 - c - Art Education
 - d - Physical Education
 - e - Labor Education
 - f - Social Education and Music
- 3 - Democratic Functional Techniques
 - a - Budgeting
 - b - How to Make Survey
 - c - " " Conduct a Meeting
 - d - Majority Voting
 - e - Program Planning

Report made by Mrs. Keimi Hara, CO, Civ Aff, GHQ,
S.A.P.
Sent direct 19 July 50

4 - Social Education Media

a - C. P. H.

b - P. T. A.

c - Public Libraries

d - Correspondence Course

e - School Extension

f - Community Class

g - Social Education Advisory Committee

5 - Miscellaneous

a - Duties of Social Education Consultants

b - Preparing Exhibits

c - Sports and Games

d - Current Topics

e - Protection of Cultural Property

Opening Address:

by Mr. Nishizaki
(Director of Social Education
Bureau of Ministry of Education)

This is a long-coveted training course. At first it was planned to be held next fall but finally decided to be held in May. Social education will greatly contribute to the democratization of the country. Social education has been neglected. In this confused and wicked world social education will do much to purify the environment and train the character of the nation. We will always seek for wisdom and the truth. The sphere of social education is almost unlimited, although Social Education Law clarifies the sphere of the work. We have too many problems. In this training course you will sphere your abilities while listening to the specialists talk. Your experiences, wishes and examples from various prefectures are most valuable. GHQ is very much interested in this course and rendered great assistance to us. The schedule, under the guidance of C.I.&E, has been planned very carefully. This one is the first of the series. I wish you will do your best. We wish to express gratefulness to Mr. Nelson. (Mr. Nishizaki will not be able to come back to the closing ceremony, because he has to attend another conference in Kyoto.)

Opening Address

by Mr. Nelson

I wish your stay here will be as pleasant as that of mine in your prefectures. I suggest you to stay right here all through the period. Today's schedule is very much like our previous conference but on the following days we will use techniques of workshop.

The following are the general principles you keep in your mind:

1 - Relationship between Mombusho and the Boards of Education.

Boards of Education should become more self-reliant. There still is a tendency to depend upon Tokyo for solving problems. In order to solve problems, resources of community and schools should be utilized to the fullest extent. Generally too many notifications are issued from Mombusho, not only talking of the social education section but other sections of Mombusho. It is true that some notifications are necessary, when a joint conference is going to be held, or national subsidy is required, or surveys are taken. The Law of the Reorganization of Mombusho, however, limits its functions. No interpretation will be made by Mombusho. Generally social education sections in the prefecture will apply the law to the actual conditions and interpret it. Mr. Tanaka, chief of Soc. Ed. Section of Mombusho, will talk on this subject later. Duties of the Social Education Section are clearly set forth in the law. If you study the duties carefully, you will find out that the duties are not propaganda of private agencies but to build systematic, continuous and constructive program of education for out-of-school-youths and adults. This point should be clarified.

The structure of the board of education varies in every prefecture and it should. Any pattern will be all right as long as it meets the local needs. Of course the structure depends upon the number of personnel and the amount of money in the budget.

Last week we discussed problems at the Adult Education Conference. It seems to me that a certain amount of coordination within the board of education is needed. A regular staff meeting in the social education section might be a good idea.

Speaking in general principles, many of the prefectures established too many committees. Some are O.K., but some committees are doing the job of the Social Education Section. That is over-done. Adult education activities are for men and women. National government subsidy should be used for community classes for both men and women, yet they are accepting this money to use for women's classes. Prefectures don't have to accept this according to the stipulation. We have to give the same opportunity to women as well as to men to elevate the education of women. We need adult school instead of segregated women's classes.

2 - Relationship between the government agencies and private organizations.

Note

According to the Social Education Law complete divorcement of government control is stipulated. But there still is misunderstanding. Private agencies come to government and ask for subsidy. No government subsidy for private agencies should be given. Local Autonomy Law (Art. 212 and 230) prohibits any subsidy to private agencies. Art 231 of the Local Autonomy Law tempts a private agency to ask for subsidy, but Art. 212 and 230 take precedence over 231. Subsidy may not be allocated to P.T.A., youth organizations and to women's organizations. Public fund should not be used for Boy Scouts and Seinendan. It is illegal. An inter-agency conference may be sponsored by Social Education Section. Social Education Section is too closely connected with Fujinkai. Advice and suggestions should be given to all organizations, not only to Fujinkai. Government functions should be carried by government. Joint sponsorship is also undesirable. There is a possibility of blackmarket. Youth organizations, P.T.A. and women's organizations should not have an office at government buildings. There is no objection to a school-teacher becoming an officer of private organizations. Social Education officials should not be officers of any federation of social educational organization. It is highly undesirable. There is a great deal of danger involved. This puts the private agencies under the control of social education section.

3 - Organizational Relationship.

Many private organizations have common interests while each agency has specific projects. No organization should interfere with the specific projects of other organizations, but cooperation is vital in the success of the community project. Either Social Education Advisory Committee or organizational council has no power to exert over any private agencies.

4 - Leadership Training.

Lack of trained leaders and money is the greatest problem. Prefectural governments are concerned about sponsoring leadership training courses. Two-day social education conferences provides leadership training. It is, however, a very small part of the scope of leadership training. There may be another IFEL program. There may be a trainign course for Social Education Consultants. Utilize people who have attended IFEL and have come back from the States. They will give great assistance to social education. Colleges and universities will train leaders in the future. Until they offer courses of library science, sociology and parliamentary procedures, adult education will be continuously handicapped.

I hope again that you will stay here for 2 weeks.

Local Autonomy Law

Art. 212: Any of the property or establishments of an ordinary local public body shall not be appropriated for the use, benefit or maintenance of any religious institution or association or for any charitable, educational or benevolent enterprises not under the control of public authority.

Art. 230: An ordinary local public body shall not pay public money for the benefit or maintenance of any religious institution or association or any charitable, educational or benevolent enterprises not under the control of public authority.

Art. 231: An ordinary local public body may, if it is necessary to do so for the public interests thereof, effect donation or subsidy.

Principles of Adult Education (Translated into English)

Mr. Seiichi Miyahara
Ass't Prof. of Tokyo University

I have several books on this subject, and today because of the time limit I will only hit the highlights and ask for your opinions later. Please discuss among yourselves. I'll participate in it.

What is Adult Education?

1 - General interpretation of Adult Education

Very vague concept as "culture." "Culture" is frequently used as "cultured nation," and "problems of culture." "Culture" is sometimes used as trademark. Some interpret as art or music or simplification and rationalization of daily life. Some people think that social education is prevention of juvenile delinquency, or P.T.A. Too narrow a concept of social education exists not only in Japan but also in America. A new educational encyclopedia defines social education as a term meaning all things to all men. Adult education has different meanings to all people. In some prefectures they have a huge plan according to the ages. Adult education is mixed, varied and confused as if in an African jungle.

2 - Legal interpretation

Not formal education. There is home, school and community education but now legally there are two kinds of education: school education and social education.

3 - Adult education through historical background:

In order to understand what adult education is we must clarify its historical progress. Fifteen years ago I was given this definition of adult education: "Community teaches community by means of community." The beginning and the end of adult education is education not through the formal schooling. This kind of interpretation causes confusion. We have to interpret adult education in the light of the history. Adult education is one developed under the special condition of the community.

Formal education has been enforced only for a hundred years. It is not so long. Wherever community life is, educational activities take place whether in army or in churches. This kind of educational activities became systematic. We can say that adult education is the original form of education if we accept the interpretation that adult education is education not through formal schooling. In pre-modern age people did not have formal schooling. Now people have formal schooling so the idea of

adult education is different. At the end of the 19th century this tendency became conspicuous.

a. Now adult education is in contrast to the formal education, including the following phases:

- 1 - Supplementary education. After World War I they found out that school education did not do much in training character.
- 2 - Guidance to out-of-school activities.
- 3 - Training to boys and girls.
- 4 - An idea of new, life-centered education. These factors are well balanced and coordinated in Scouting. Boy Scout movement has militaristic training as well as meeting the needs of new education.

b. University extention

Started in England. Cambridge and Oxford offered courses. Equal opportunity for people in all walks of life.

c. Adult education must meet educational needs outside school education. Adult education is in the process of getting systematized. There are many educational needs beside school education. They are different and independent from school education. Adult education is classified into 6 groups:

- 1 - In-service-training
- 2 - Leisure-time training
- 3 - Guidance
- 4 - Life rationalization
- 5 - Youth movement
- 6 - Labor education

Democracy is at the basis of this. Physical and technical conditions (communication and transportation) enable the education of the public.

Sometimes adult education is carried on a democratic basis but sometimes on the basis of anti-democracy. Before and during the war in Japan democratic principle were discouraged. Adult education included activities to suppress democratic tendency as in Japan and in Germany.

4 - Re-interpretation of Adult Education

We are in the middle of 20th century and have to interpret this term again.

From inside and outside of the school we have to interpret school education in the light of the history. With commercial developments people were required to write, read and count. Other skills could be taught at school. Later on children should be trained to be good citizens at school and the schools were converted into small communities. In 1899 Dewey emphasized that schools be connected with community.

The present community is full of bad elements. School education cannot help being isolated from the community in order to protect young people. Schools should be non-partisan and must be isolated.

Unless community improves, there is no good education. Education can improve schools. It is like a sprial. We want to protect young people and must isolate schools (If we take children to an isolated island and educate them there, and bring back to this world again, they won't work. This is an old idea.)

Now we have to have young people face social coils and let the struggle against evils so that they will be strong enough to overcome evils. Community itsãlf is the place of education and school is the center of it. This means more than supplementary education. Now the duties of teachers is to give guidance to pupils outside schools.

Now is the time for us to make up our own mind. All adults should study again, now. There should be no charitable attitude in adult education. In the past we used to give charity to the people who had not had enough education. Every adult should be reoriented. Those who have had good education should take reorientation first. Adult education is for every adult. Reorganize the structure of schools and adult education and find out the needs of the community Schools, hospitals, theaters and all other institutions should be utilized. 65% go to work after compulsory education. In attempting to adopt methods successfully in use in more advanced countries the situation in Japan resulting from pre-war fendalism and the devastation and confusion caused by the war must be kept in mind.

Functions of Social Education Advisory Committee

by Mr. Nelson

We got a report from Tokai-Hokuriku Region that Social Education Advisory Committees are controlling and directing social education activities. That is not right. The Japanese translation leaves out "advisory," while the English version has the word. Article 17 of the Social Education Law prescribes the function of advisory. They are not an executive committee. They have no power to force recommendations, not mandatory. Through the superintendent they can assist the board of education. They consider themselves that they are the right hand of the board of education. This is not right.

I want to stress the need of committee work. Many organizations are represented on the Social Education Advisory Committee, thus it serves as a bridge between private organizations and the board. There is a tendency also to consider themselves to have authority to tell the private agencies what to do. They have no power to do that. What can they do?

- 1 - To develop plans
- 2 - To make recommendations through the superintendent.
- 3 - To present plans to private organizations but no power to force them. Any private organizations can participate in the plan of the social education advisory committee at the majority vote.

A central liaison council is a bad tendency. I have no objection to periodic conferences - once in four months but it is out of question to establish any formal organization. Their duties are to advise the board of education through the superintendent, not to form a central liaison council.

Small help

As to the size of the committee I am not in a position to state the exact size but it should not be too large. A very large committee can do very little. I have no objection to the formation of sub-committees to the social education advisory committee governed by local regulations. It is natural that you will need small committees for specific problems but that can be done quite informally. I don't favor a rigid structure of sub-committees. The chairman should appoint rather informally and report back to the entire group.

Members should work together as a committee. Individuals can express their opinions but that is not the purpose of the Social Education Advisory Committee.

Question: The word "committee" is put in ~~the~~ Japanese version as a member of a committee so he thinks he has individual power and freedom.

Answer: Mr. Nelson -- It is ridiculous. Mr. Inai -- The Japanese version (mombusho official who dress up the law.) can be translated either as individual or group.

Question: He is a member of an assembly, and he is indispensable as a member of social education advisory committee. Is it permitted that he is on the social education advisory committee?

Answer: Law does not prohibit. The same principle applies. It is not desirable.

Program Planning:

Mr. Typer

May 24, 1950

His speech was conducted according to the following order:

- I. Basic Assumptions
- II. Nature and Purpose of Program
- III. Factors Affecting Program Planning
- IV. Steps in Program Planning
- V. Principles of Program Planning.

* * *

I. Program is a means to an end. In Boy Scouts, for instance, a campfire itself is not an end. It is a way to help boys grow good citizens.

Members should share in planning and carrying on the program. Social education is not to or for, but with people. Social education leaders are not bosses.

II. Program is a series of events and activities or a series of informal experiences.

III. 1 - Age.

2 - Interests.

3 - Needs.

4 - Forms and Media.

5 - Methods of Group Work.

6 - Limitations -- time, money, leadership, resources, and facilities.

IV. 1 - Recognition of the aims of the organization.

2 - Find out the interests and needs of the group.

3 - Select something to do.

4 - Look at different responsibilities and break those down into specific jobs.

5 - Assignment of responsibilities.

6 - Coordination of all these efforts.

7 - Event.

8 - Evaluate the event.

May 25, 1950

Since more flexibility is required in program planning of social education activities, 2 or 3 month detailed planning is better. Let us take an example of civic education program in Seinendan.

The following are the objectives in civil education:

1 - To teach the members the constitution and other laws affecting the members of Seinendan such as Land Reform Law and Farmers' Cooperatives.

2 - To study political issues objectively.

3 - To encourage voting intelligently.

4 - To encourage the support of community organizations that are designed to improve community.

5 - To encourage participation in civic duties.

6 - To teach the method of parliamentary procedures.

V. 1 - Program planning should be based upon the needs and interests of the members.

2 - Small groups are most effective means to attain objectives.

(The number of small, voluntary groups is a determining factor of the success of social education.)

3 - Leadership for the program needs to be graded.

(It is hard to do social education in large groups because of the difference of background. In social education people come on voluntary basis, so if the program is not attractive enough, they will not come. In Mr. Typer's opinion it is harder to be a Girl Scout leader than to be a teacher.)

4 - Good facilities are a great help.

5 - Responsibilities of leadership should be spread among many people.

6 - The content of the program should be varied and more ahead.

- ? — 7 - Financial responsibility should be spread among many people.
8 - The program should include some service program.

Type of Discussion:

Discussion is one of the most effective means to attain the objectives of social education.

I. Why Discussion

- 1 - Way to clarify the idea in our head.
- 2 - " " stimulate thinking.
- 3 - " " exchange friendly criticism.
- 4 - " " settle differences and conflicts.
- 5 - " " Way to widen one's point of view.
- 6 - " " develop ability to express one's opinions clearly.
- 7 - Helps one re-examine one's opinions more clearly.
- 8 - Helps give one new convictions.
- 9 - Strengthens the will of our action.
- 10 - Helps build up the importance of individuals.

II. Advantages.

- 1 - To put one's ideas into the form of presentation.
- 2 - To lead to decision.
- 3 - To uncover new leaders.
- 4 - To build good morale in a group.

("In 1943 I was in Southern England. Groups of 8 soldiers were scattered to work on the German planes. Soldiers got easily discouraged when extensive discussion methods were used to build good morale among people. Discussion is a good morale builder in wartime as well as in peace time.")

III. Type of Discussion

1 - Panel Discussion.

Three or four persons discuss among themselves back and forth and secondly with the audience.

Three distinct steps to get good results:

(1) - Let each panel member make a brief statement.

(2) - Let panel members discuss among themselves.

(3) - Let the public participate.

2 - Lecture method.

3 - Debate & discussion.

(1) - Pro and con.

(2) - Get the opinions by written questions.

4 - Symposium.

(1) - Let the members read written statements.

(2) - Let the audience ask questions.

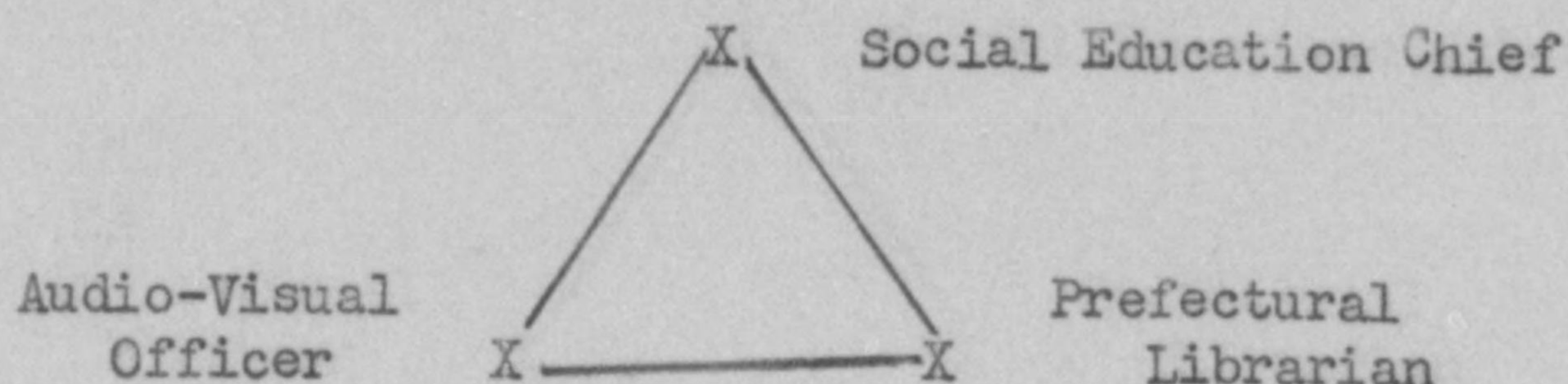
5 - Round-table discussion

Complete exchange of ideas without any formal presentation.

It is important to present the topic exactly, otherwise the discussion will go round and round.

Responsibility of Social Education Personnel
To Conduct Audio-Visual Education

by Mr. Judson
CI&E, SCAP



Audio-visual library works successfully if these three people work cooperatively. Audio-visual films take 2/3 of the CI&E budget. They amount to 5 million dollars. CI&E feels deep responsibility which will not be fulfilled without your cooperation. Social Education Section has been selected because of the two reasons:

- 1 - Close connection with a library.
- 2 - For adult education.

In some prefectures the relative responsibility is not yet clearly understood. In some prefectures librarians dominate and in others audio-visual officers dominate and in some prefectures Social Education chiefs try to run the whole program. Good working relationship should be emphasized. It is a matter of ignorance, not a matter of personal ambition. There exists misunderstanding as to the nature of audio-visual material compared with books.

1 - Books and pictures can be used by a single person, while the audio-visual material must be used by aids.

2 - Audio-visual material is used for adult education. So cooperation is needed. There should be no conflict at all.

People cannot make wise selection unless they are informed. Many of the prefectural librarians are older people and do not understand the audio-visual education. "If a shoe fits, wear." Librarians have direct responsibility for the efficient handling of films in the library. Audio-visual officers see to it that the films are utilized outside the library. The interests of librarians and audio-visual officers

are mutual -- there is no conflict. You have more films than that of the average U. S. library. A library is the key to the cooperation. An audio-visual officer should be a leader. (In some prefectures they are very young without much experience.) He should be capable to maintain liaison with leaders in the community, such as cooperatives, professional associations, and labor unions. Representatives should attend the screening of the movie. An audio-visual library is a service agency and successful utilization of material is most important.

An audio-visual officer should have his office in the library. Social Education chief sometimes does not like it, because he wants to have his staff in his sight but if he cannot trust the audio-visual officer, he should not hire him. If the Social Education chief is a true public servant to make the country a better place to live in, much consideration will be given to my talk.

ADULT EDUCATION CONFERENCE

May 26, 1950

SUBJECT: "How I Intend to Improve the Social Education Program in My Prefecture"

CHAIRMAN: Mr. Tanaka (Chief, Social Education Section, Ministry of Education)

SPEAKERS: Representatives of 8 Regions

1. Mr. Matsumoto (Hokkaido)

Hokkaido is a vast area and holds large population. From the standpoint of functioning, however, Hokkaido is far reaching and there are problems and difficulties.

The following four points are emphasized:

- 1 - To get general people interested in Social Education.
- 2 - To stabilize social education functioning structures.
- 3 - To train leaders.
- 4 - To give training of democratic techniques.

The weaknesses of Hokkaido are that they have a long winter and historically old and new elements are not well fused. Conservative immigrants from other places still stick to their own traditions. The improvement of houses is difficult. They must make people realize that if social education is promoted the community will become better. One of the villages in Hokkaido was burnt down but after that the village got electrified and civilized.

The institute of training social education consultants is being planned. This will be a permanent institution. There are 111 C.P.H's. and they have moving C.P.H's by using trucks. Utilization of radio is encouraged. Coordination with other government sections and agencies concerned goes smoothly. They hold a monthly meeting. The whole budget of Social Education Section is ¥23,790,000.

2. Mr. Yoshikawa (Tohoku - Niigata)

It takes 10 hours by train from one end of Niigata to the other. The population is 2,400,000. It is difficult to realize unity. A third of the year is snowy. Social Education is planned through three media:

- 1 - School Extension.
- 2 - Utilization of facilities.
- 3 - Organizations.

They have a correspondence course sponsored by Niigata University especially for out-of-school-youth. Ninety-eight per cent of C.P.H.'s are completed and they are re-examining the content of the program. There are 60 people on the staff of Social Education. A training course is planned for C.P.H. advisory committees.

There are 150,000 copies of books in libraries and 130 C.I.&E. films. They are being handled efficiently.

3. Mr. Iwatani (Kanto - Kanagawa)

Adult school: Last September the first class was opened at Kawasaki City. Adults were eager to learn. People from 16 years of age to 60 years of age attended the class. The participants amounted to 2067 including 963 women. The occupational classification was 614 businessmen, 133 officials, 87 teachers and so forth. They were 20 different courses and some of them were English, abacus, dressmaking and knitting. At Hiratsuka and Fujiwara they hold 6 week adult education course planned and run by committees. They have circulating libraries. Emphasis is placed upon publication and training leaders.

4. Mr. Nakajima (Tokai-Hokuriku-Aichi)

The budget of the Social Education Section of Aichi for 1950 is ¥7,000,000. The public understanding of social education is low.

They have different devices as to getting social education reached to each individual. By using visual aids and dramatics or by holding town meetings they try to awaken people to the significance of new privileges as well as responsibilities. They give vocational guidance according to the curriculum drawn by the committee to meet the needs of the community. There is much to be done in C.P.H. activities.

5. Mr. Ogino (Kinki - Kyoto)

Each town and village should have its own program. (Decentralization of education emphasized.)

As to adult classes and libraries, a Guide to Adult Class was compiled by Social Education Section. They installed 3 small model libraries which contain about 3,000-7,000 copies of books. Open shelf system is adopted. In rural areas they established library-service stations.

The job of Social Education Section is to give advice and suggestions to small communities. They have a house for women. They can use it as they want. Coordination of social education sections within Kinki Region is good, especially in budgeting.

6. Mr. Iwata (Chugoku - Hiroshima)

Hiroshima is in a special condition. On the spur of the moment 240,000 people were killed. The world is watching Hiroshima as an atomic-bombed area, which was once a militaristic spot and now becoming the center of peace. There are very few cultural facilities available for social education activities. Emphasis is placed upon publicity and promotion. An adult course has been installed in many of the small villages and towns.

Democratization of organizations is encouraged and youth classes and women's classes are being operated. In the field of C.P.H activities there still is much to be done.

7. Mr. Nishimura (Shikoku - Kochi)

Progressive elements do not go well with feudalistic ones. Kochi is often damaged by flood. They have frequently sent petition to the Ministry of Education for getting relief fund for flood victims.

Very typical (The budget required ¥6,750,000. It is primarily important that the mayors of towns and villages should realize the importance of social education. (It is difficult to crack old traditional shells.) They have library buses young people are so eager to read. Film library branches have been established. They had a mock assembly meeting of the prefecture. Their political awakening is high.

Life-improvement movement is one Emphasis is placed upon the simplification of wedding. (Prizes are to be given to the winners.)

In some parts of Kochi Prefecture the sense of discrimination of a certain group of people is strong.

8. Mr. Koga (Kyushu - Fukuoka)

In Fukuoka there are 11 cities and 16 towns. The population is 3,500,000. There are industrial mining and rural areas. The budget of the social education section required ¥8,800,000. Democratic forms have been taught but not digested yet. Autonomy has been encouraged but actually not. It is necessary that they should turn the wheels by themselves. The power of "Fujinkai" is still strong. More encouragement be given to women's education and training of young people.

C.P.H's have not been completed yet. There are about 20 independent C.P.Hs. Improving existing facilities, they will establish new C.P.Hs. They have a monthly C.P.H. managers meeting.

ADULT EDUCATION CONFERENCE

May 27, 1950

A. Evaluation by the participants:

1 - The meeting-place was good.

2 - The season was good.

3 - As a whole it was passable, not particularly of a great success.

4 - Cooperation was good.

5 - The atmosphere was informal.

6 - The selection of lecturers was fair and lectures were not particularly good as a whole.

7 - The term was rather too long.

8 - The program planning was not good.

B. Comments made by Kimi HARA:*(from CE, Civ Aff, GHQ, SCAP)*

1 - Had the program been planned by a committee, not entirely by the officials of the Ministry of Education, the participants would have been more enthusiastic and active. The interest and enthusiasm of the participants decreased as days passed by.

2 - The lectures were generally rather monotonous and not so effective. Too many lecture-methods were used. More ingenious and effective teaching techniques should be developed and practised. Attractive teaching methods are indispensable in social education.

3 - In some parts of the discussion periods and problem-method was used. It was good as a way of learning. Although some of the problems were good, others were not clear to the students. If they themselves had presented the problems, they must have had more lively discussions.

4 - Some of the chiefs of social education sections said to me, "There is no freshness in this training course. They are old stuff. We want to get our eyes opened to new phases of activities." The content of the training course did not satisfy the interests and needs of the social education personnel thoroughly.

Note

Greetings:

by Mr. Tejiyu Amano
Minister of Education
May 23, 1950

Now is the professional age. Our life itself is a period of training -- training to be a good person. There are three kinds of education: home, school and social education. Social education has been neglected. In Japan education means school education -- weakness of Japan. It is a mistake to think that the school is the only place of training. Japanese students, while at school, study hardest but if they are out of school they do not study at all. Formalism prevails. Young people are only driven to study. It seems that universities are trying hard to make all the students scholars. They think that perfection of human being is done only at school. This is a mistake. The place of work is also the place of training. I cannot emphasize the importance of Social Education too much.

Now everybody says that he believes in Democracy, but for instance in the election campaign a candidate runs as independent and after the election he goes to some other party without getting the permission of the people who supported him. Community is the place of training. Through cultural media let people realize the significance of citizenship.

THE PROBLEM - SOLVING METHOD

The whole group was divided into 8 sub-groups and a problems solving method was used at workshops followed by a panel discussion to evaluate the answers to the problems. Some of the problems were practical and realistic but others were too clear yet we found this method effective and interesting. The following are some of the problems presented. There were eight different answers to each problem. The comments given by different people are also included.

Problems relating to Budget-making:

May 16, 1950

No. 13

The following budget was given to the participants for correction and addition without changing the total amount of money.

Social Education Advisory Committee	¥ 200,000
Adult Education Training Courses	500,000
Libraries	2,000,000
Subsidy to C.P.Hs	200,000
Guidance to T.P.A.	200,000
Visual Education	1,500,000
Social Athletics	1,200,000
Boy Scouts	100,000
UNESCO	100,000
Publication	50,000
Lecture meetings for youths	100,000
Women's organizations	30,000
Forum	500,000
Community Schools	50,000

Preservation of National Treasure	¥ 300,000
Adult Day Activity	100,000
Travel Expense and Misc.	1,000,000
Prefectural C.P.H.	5,000,000
General Promotion of Culture	1,000,000
Regional Organizations	20,000
Total	<u>14,200,000</u>

At the panel discussion Mr. Nelson, and Mr. Morgan, CI&E, SCAP, and Mr. Tanaka and Mr. Teranaka, Ministry of Education, gave the following comments:

Mr. Morgan:

Bear in your mind that every item is in conformity with the educational policies. A budget itself is the balance of activities. In going over your budget I found out that some illegal items are included. Uniform terminology is recommended. The money subsidized by the national treasury must be used for exclusive purposes.

Mr. Nelson:

200,000 yen for Social Education Advisory Committee! If it is agreeable to you, I don't raise any objection but caution you. The committee may be too large or regulations may be violated.

Adult education leadership courses! It's too vague. State more specifically.

Is the money for C. P. H. subsidy or for training courses?

If the money for social athletics is used to subsidize an amateur athletic association, that will violate the law.

The item of promotion of culture is too vague. Instead there should be a fairly large amount of money allocated to publication.

Holding a P. T. A. study group violates Social Education Law. It is better to change it to adult leadership training.

Complete separation between P. T. A. and the government should be emphasized. Guidance of democratic techniques is needed by many groups. The national congress of P. T. A. is going to be established soon.

The money for women's leadership training courses violates the principles. National holidays should not be overemphasized. They are not so important as a continuing program.

In organization guidance which Group D used the word guidance is too strong. I raise objection to the word guidance. Consultation service is better.

No. 14

You are the chief of the Social Education Section. There are 18 people in your section. Organize these people.

Problems Relating to Community and Social Education Activities:

No. 7

You are the president of a women's organization. The chief of Welfare Section of the prefectural government requested you to cooperate with them in cleaning campaign by making each member of the women's organization donate ¥300. What will you do?

No. 8

You are a member of P.T.A., a member of the Chamber of Commerce and Industry, of town assembly, of Rotary Club, and also on the C.P.H. Advisory Committee. The Social Education Section of the Secretariat of the Board of Education is going to sponsor an extension course in the evening at a primary school for youths and adults excluding students but including many repatriates. What can your organizations do? And what will you do?

No. 16

You are the chief of the Social Education Section. A representatives of Agricultural and Forestry Section came to you saying that 4-H clubs are under his jurisdiction. What would you answer?

No. 21

The population of your town is 10,000. You are on the Social Education Advisory Committee. A new C.P.H. has been established. Social Education Advisory Committee has been requested to recommend members on the C.P.H. Advisory Committee. What do you recommend?

No. 22

You are the chief of Social Education Section. One of the leaders of a Seinendan asked you to get athletic tools for them. If not, he will tell the superintendent of education to fire you out. What will you do?

Problems Relating to C.P.H.:No. 1

The city mayor thinks that C.P.H. activities are the thing he should be proved of and appointed his nephew as the manager of a C.P.H. There is no C.P.H. advisory committee organized yet. A part of the C.P.H building is used as a theatre with admission fees taken. One of the rooms in C.P.H. is used for holding an official party. You are a member of Social Education Advisory Committee. What would you do to improve the C.P.H?

No. 2

You are the chief of a branch C.P.H. The chief of the main C.P.H. treats you as an office boy. All the activities of a branch C.P.H. are directed by the main C.P.H. You believe that a branch C.P.H. should not depend upon the main C.P.H. for everything. What would you do to improve the situation?

No. 6

A Buddhist priest uses his temple as C.P.H. In addition to the religious rites the temple sponsors C.P.H. and cultural and recreational activities. Is this wrong? Explain why.

No. 9

The mayor of the city has permitted one of the political parties to which he belongs to have an office in the C.P.H. The political party pays the rent. There have been some voices against this issue, but the mayor says that C.P.H. does not support one particular party but the political party helps the management of C.P.H. by paying the rent. He also says that as a private organization like P.T.A. pays the charge when they use the room, so does the political party. In other words if the political party pays the charges and still they cannot be allowed to use the building, that is a discrimination. You are a member of a women's organization, and notice that the C.P.H. is being monopolized by political activities. What would you do?

No. 20

Several managers of C.P.H. visited you and asked for suggestions about a federation of C.P.Hs. What kind of advice would you give?

Problems Relating to P.T.A.:No. 3

Mr. Suzuki is the president of a P.T.A. At the convention recommended by his co-capitalist, he was selected as president. He used to be a peer, and he is rich. He is known as a boss of the village. Some one else was elected as the mayor of the village. Since Mr. Suzuki has donated the highest amount of money to P.T.A. he thinks he has the right to act for all the members. Mr. Suzuki, recently, thought that coeducation is not good and told the principal to stop it. The principal protested against it and reported to the superintendent of education, who visited the P.T.A. boss immediately and was entertained with sake. The superintendent decided to stop coeducation.

Now, you are a member of the P.T.A. You know that most of the members are in favor of the principal's opinion. What are you going to do?

No. 4

The chief of the social education section requested you, president of P.T.A., to present him the names and occupations of the members of P.T.A. What are you going to do?

No. 10

You are a member of P.T.A. not of your own accord but because your child is attending the school. One day, your child brought home a letter from the principal requesting parents to pay ¥200 as P.T.A. dues. You know how miserably children whose parents refuse to pay the amount are treated at school, but you think it impossible for you to pay the amount. What would you do?

No. 15

You are a social education consultant. An election of the city is coming soon. A representative of a P.T.A. came to you to get advice in regard to the role of P.T.A. in the election. What would you answer?

GENERAL HEADQUARTERS
 SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
 Civil Affairs Section
 APO 500

AE
 F
 600

11 JAN 1951

000.8 (1 JAN 1951) CAS-CE

SUBJECT: Utilization of Japanese Education Personnel who have attended
 IFEL (Institute for Educational Leadership) Adult Education
 Courses.

TO: Chief, Chugoku Civil Affairs Region, APO 182
 Chief, Kanto Civil Affairs Region, APO 500
 Chief, Kinki Civil Affairs Region, APO 15
 Chief, Kyushu Civil Affairs Region, APO 1105
 ✓ Chief, Shikoku Civil Affairs Region, APO 1050
 Chief, Tohoku Civil Affairs Section, APO 547
 Chief, Tokai-Hokuriku Civil Affairs Region, APO 710
 (Attn: Civil Education Officer).

1. Two sessions of the IFEL Adult Education Course have been completed. A list of education personnel from your region who have attended these courses is attached (Incl 1).

2. It is desired that encouragement be given to Japanese agencies and organization in utilization of these IFEL graduates. These people have had an opportunity to observe and participate in many new methods and techniques in adult education and should be able to make a great contribution to the adult education program in their areas.

3. It is suggested that the attached list be made available to interested sections in your region.

FOR THE CHIEF, CIVIL AFFAIRS SECTION:

1 Incl
 IFEL Graduates

J. A. O'Brien
 J. A. O'BRIEN
 CWO-
 Adm 4-07 off
 USA

A-551

PARTICIPANTS
Adult Education Course, IFEL
(Consultant Dr. Rose Cologne)

First Session (Sept. 18 - Oct. 27 1950)

Shikoku:

1. Kochi Prefecture
 - a. Shimazaki, Hideo, Consultant, Social Ed. Sec.,
B/E
2. Kagawa Prefecture
 - a. Mizuno, Hideo, Principal, Kida USS

Second Session (Oct. 30 - Dec. 8 1950)

Shikoku:

1. Kochi Prefecture
 - a. Maejima, Kizo, Consultant, Social Ed. Sec.,
B/E

Incl 1

HEADQUARTERS
KINKI CIVIL AFFAIRS REGION
APO 25

BED
CEG
Runt ✓

13 October 1949

600

TO: Civil Education Officer
Shikoku Civil Affairs Region
APO 1050

SUBJECT: Adult Education Course Kami-shibai.

The bearer, Mr. Jiro HIRAYAMA, is a member of the Adult Education Visual Aid Committee, which have undertaken the task of preparing, printing and offering for sale kami-shibai which are coordinated with the I Corps Adult Education Course. Three of these, "The Awakening Village", presenting democratic political procedures, "The Invasion from Mars", on freedom of information, and "The Divine Stone" on public sanitation, are now available.

These kami-shibai have been very painstakingly prepared by the committee for use as visual aids to enhance the pertinent lectures in the course. The former Civil Education Officer, this headquarters, worked very closely with the committee in preparing scripts, advising on subject matter, and generally giving of his time and experience.

The undersigned feels that these kami-shibai are very worthwhile as embellishments of the course. It is hoped that after you have reviewed their contents, you will feel free to recommend them to the Social Education section of the school board.

Josephine Colletti
JOSEPHINE COLLETTI
A'sst. CEO

4893 for all 3.

N.B.: Turned down this request, 15 Oct. 49
Jm

ej
80

F
600

No. of Registered Voters (As of 23 Jan. 1949)

Prefecture	Man	Woman	Total	
Kyoto	471,608	538,457	1,010,065	Kinki
Osaka	924,690	995,954	1,920,644	
Hyogo	818,243	888,287	1,706,530	
Shiga	220,544	258,590	479,134	
Nara	200,563	230,786	431,349	
Wakayama	254,535	289,370	543,905	
			<u>6,091,627</u>	
Toyama	253,092	282,968	536,060	Tokai-Hokuriku
Ishikawa	242,445	279,373	521,818	
Fukui	187,084	213,984	401,068	
Gifu	386,071	420,810	806,881	
Aichi	804,985	881,107	1,686,092	
Mie	363,699	421,962	785,661	
			<u>4,737,580</u>	
Tottori	149,987	176,028	326,015	Chugoku
Shimane	231,296	264,180	495,476	
Okayama	428,010	480,840	908,850	
Hiroshima	525,458	585,716	1,111,174	
Yamaguchi	380,397	418,127	798,524	
			<u>3,640,139</u>	
Tokushima	214,584	243,194	457,778	Shikoku
Kagawa	238,949	272,538	511,487	
Ehime	372,096	412,703	784,799	
Kochi	229,631	256,484	486,115	
			<u>2,240,179</u>	
Fukuoka	833,487	896,408	1,729,895	Kyushu
Saga	224,467	260,320	484,787	
Nagasaki	383,972	424,277	808,249	
Kumamoto	432,536	496,636	929,172	
Oita	304,320	353,074	658,394	
Miyazaki	293,002	235,082	528,084	
Kagoshima	407,488	486,069	893,557	
			<u>6,032,138</u>	
Total	10,778,239	11,963,324	22,741,563	

FORMATION OF A LOCAL TOWN MEETING

A board of trustees, directors or a committee representing all shades of opinion in your community should be formed first. This body should include men and women who are engaged in various activities in your area--management, labor, education, religion or any other field which, in your opinion, would broaden the scope of the programs. This committee would act as an advisory body or board of directors and would appoint an executive who would be known as a director, executive secretary or even president.

After the organization has been established then the mechanics of production should be worked out carefully. If you are going to put your weekly "Town Meeting" program on the air, you should establish contact with the local radio station officials as soon as possible, sell them on the idea and begin planning the programs. Since you will be dealing with controversial questions, your advisory committee should be consulted frequently for help, suggestions and advice.

Whether your local "Town Meeting" is broadcast or not you will have to have a moderator to lead the discussion. The role of the moderator is a difficult one, and there are few rules by which he can be guided. He must have an inherent sense of fair play, good humor, and some knowledge of the subject under discussion. Bearing in mind at all times the primary object of the meeting, he should, without being officious, direct the discussion to this end at every opportunity, by asking the speakers to keep to the subject, by bringing out points that have not been sufficiently clarified, and by pointing out the essential conflicts between the speakers. Without injecting himself too prominently into the program, he must at the same time keep the meeting completely within his control. He must see that the speakers do not exceed their time limit; he must rule out unfair questions; and the audience must feel that his decisions are just and final. In a large audience it is sometimes desirable for the moderator to repeat the questions from the floor, but when the meeting is being conducted for the radio he must judge in an instant

F 600

Special
ProjectsD. BED
CST
RMS

FORMATION OF A LOCAL TOWN MEETING

whether the question has gone out clearly over the air. If it has, he should not take up time repeating the question but let the speaker answer it immediately. For the benefit of the radio audience he must repeat the name of the speaker on the program frequently before the speaker answers each question, so that there may be no confusion in the minds of the listeners as to the identity of the person talking.

If you wish to follow the exact procedure of "America's Town Meeting" with prepared statements by the principal speakers, the two-minute analyses by the two cross examiners, the discussions around the microphone and finally the questions from the audience, it is best to consult one of our "Town Meeting" bulletins for exact details.

Subjects for future programs on "America's Town Meeting" are announced at the close of each broadcast.

SELECTION OF SUBJECTS
for
"AMERICA'S TOWN MEETING OF THE AIR"

Since "America's Town Meeting" is a topical program, the selection of subjects for discussion involves hours of newspaper reading and radio listening by the members of our program staff. Periodicals representing all shades of opinion, books and pamphlets on social, economic and political questions are an important part of our research library. Included in our research material is an extensive file of newspaper and magazine clippings and a card index of the most important authorities in every field. From this current reading it is not difficult to decide the most important issues of the day, but it is difficult without a crystal ball to know whether these questions will be live issues in two or three weeks time.

In addition to the subjects submitted by our program staff, our mail department tabulates the hundred or more suggestions for topics from our weekly fan mail. These are submitted to our program committee each week and ten of the most important are included in a questionnaire which is distributed to our visible audience the night of each broadcast. The members of the audience vote on the topic in which they feel the greatest interest and the questions receiving the highest vote are accordingly scheduled for definite dates. We are never more than two or three weeks ahead in our program planning. Before scheduling a subject definitely, we consult with well-known authorities on the issues involved and the time public interest will be most keen. From these sources we learn when bills will be brought before Congress, on what dates meetings and conventions will be held by various national organizations, and the nature of the questions to be discussed. By checking these contacts we are able many times to plan our program coincidental with events of national importance. However, any group planning a local town meeting program should take into consideration that there are some differences between the type of program we have to arrange with a network audience in mind and the type of most interest to that particular community.

SELECTION OF SPEAKERS AND PRE-BROADCAST PROCEDURE
for
"AMERICA'S TOWN MEETING OF THE AIR"

Our speakers are selected for their knowledge of the subject, their place in our national scene, the prestige of their office, and their platform and radio presence. After our topics are chosen, our program department does extensive research on the background of the controversy and the personalities and groups most actively involved. A report containing both the names and views of those personalities and organizations is submitted to our program committee and from this our panel is selected and invited to participate.

The "America's Town Meeting" format usually presents two clear-cut sides, but there are some subjects in which the cleavage is not defined or the issues may be too inflammatory. In those instances we plan a symposium instead of a debate.

Our forum now usually consists of two principal speakers and two interrogators. However, it is sometimes impossible to cover all the facets of the issue with only two speakers and then we present four viewpoints--two speakers on each side, but each one differing enough to make the tapestry of the argument both interesting and informative.

With the two speaker-two interrogator lineup the prepared statements of the principals are eight minutes in length (with four speakers, five minutes) and are submitted about five days in advance so that copies may be mimeographed and sent to each participant. We do this so that each person may be familiar with the arguments before the speakers conference which takes place on the day of the broadcast in the office of Mr. George V. Denny, Jr., President of Town Hall and Founder and Moderator of "America's Town Meeting." At this meeting duplications are eliminated, points of agreement and disagreement discussed in detail and the whole pattern of the program integrated.

After the conference the participants make whatever revisions in their material they feel necessary and recordings are made of their voices so that they may make improvements in their delivery technique by hearing themselves on the records.

AMERICA'S TOWN MEETING OF THE AIR

Town Hall, New York

Suggestions for Speakers

In preparing your speech for America's Town Meeting, you will greatly increase the effectiveness of your address and reach a much larger listening audience if you will keep the following points in mind.

1. Remember you are speaking to an audience, the great majority of which is not accustomed to dealing with ideas. You are using a mass medium of communication and are competing with some of the best entertainment money can buy.
2. You will have the opportunity of reaching more people, people representative of every economic group, than you could reach face to face if you spoke three times a day in large auditoriums throughout the country for an entire year.
3. The Moderator will introduce the subject, so get right to the point in your opening paragraph and tell the listeners just where you stand.
4. Include facts, news worthy facts, if possible, and illustrate your facts with meaningful examples.
5. Use first and second person singular as often as you can. Remember you are talking to the individual in his home and not to a mass of people. Ask him rhetorical questions as this helps to make him think along with you.
6. Make only three or four points to uphold your position, as it is confusing for the listener to try to remember more.
7. Use humor and human interest stories whenever you can. These are remembered when academic arguments are long forgotten. Avoid long and involved sentences at all costs. Use clear, short sentences with picture words and phrases wherever possible.
8. Prepare a strong concluding paragraph pulling together your foregoing arguments.

AMERICA'S TOWN MEETING OF THE AIR

Town Hall, New York

Notes for Interrogators

Copies of the two principal addresses should reach you two or three days before the broadcast. The main function of the interrogators is to help the audience to understand the real issues of each discussion more thoroughly, to set a high standard for the question period and improve the effectiveness of the program both as to showmanship and education.

The first task of an interrogator is to make a brief two-minute analysis of the two principal speeches, evaluating the arguments of both speakers, and concluding this analysis with a question.

Following two serious presentations in the realm of ideas, humor and down-to-earth illustrations are very effective.

As we insist that the audience limit their questions to twenty-five words, the interrogators can help by asking short, sharp questions.

Interrogators should be on the alert throughout the question period to see that each question is adequately answered. If he wants to add something in support of his position, or refute something on the other side, he should signal the Moderator and step right up to the microphone.

If a speaker fails to understand a question clearly, or gives an evasive answer, step right into the discussion. (A most effective example of this took place on a Town Meeting program not long ago when one of the speakers stepped up to the microphone and said, "Now, Bill, why don't you answer the lady's question?" To which Bill replied, "Why don't you answer it. You seem to know all the answers." Then both proceeded to answer.)

February 9, 1948

純潔教育委員会規定

第一條

純潔教育委員会は、男女同の道徳を確立し、社会の純化を圖るに必要なる純潔教育に関する具体的方策を調査審議し、又は進んでこれに關し建議することを目的とする。

第二條

本委員会は文部大臣の所轄とする。

第三條

本委員会は関係官公庁職員及び学識経験ある者四十人以内をもちつて組織する。特別の事項を調査審議する必要があるときは、別に臨時委員を置くことが出来る。

第四條

本委員会には必要に応じ部会を置くことが出来る。

第五條

本委員会の委員は、文部大臣がこれを委任又は命ずる。

第六條

本委員会に委員長一人、副委員長一人を置く。委員長及び副委員長は委員の互選によつて定めらる。

第七條

委員長及び副委員長の任期は一年とする。但し重任することを得ない。

第八條

委員長は会務を總理する。副委員長は委員長を輔佐し、委員の長に事務を代理する。

第九條

本委員会に幹事及び書記を置く。幹事及び書記は委員長の承認を経て、文部大臣がこれを命ずる。

第十條

幹事は委員長の指揮を受け、庶務を整理する。書記は幹事を輔佐する。

第十一條

本委員会の事務は、文部大臣の指揮を受け、庶務を整理する。

第十二條

本委員会の事務は、文部大臣の指揮を受け、庶務を整理する。

第十三條

本委員会の事務は、文部大臣の指揮を受け、庶務を整理する。

第十四條

本委員会の事務は、文部大臣の指揮を受け、庶務を整理する。

第十五條

本委員会の事務は、文部大臣の指揮を受け、庶務を整理する。

Purification Comm.
Hagawa Pref.

追記

山下	田刈	角田	生駒	三原	黒田	川西	安藤	未沢
ひさ	知己	繁雄	奉昭	又五	又八	博	みち子	朝臣

國鉄伊組台香川縣支部
 三豊郡鏡間町婦人会
 高松市二日会
 木田郡氷上村婦人会
 国立少女の家
 出版業
 旅館業
 香川縣医師会
 綾歌郡川津村婦人会

準備会、結成会、不在投票の何れにも関係せず、何の連絡もなかった
 委員候補者は期間の末で連絡がつかないので、一応委員会から削除
 してあるが、不承御了承下さい

別紙

香川県純潔運動委員会現定 (試定)

第一条

純潔運動委員会は純潔運動実施要項にもとづいて男女同の道徳を確立し、社会の純化を図るに必要なる身内面の純潔運動に関する具体策を調査審議し、又は進んでこれに關し、その助成建議することを目的とする。

第二条

本委員会は

の所轄とする。

第三条

本委員会は関係官公庁職員及び学識経験ある者、若くは組織する。特別の事情を調査審議する必要があるときは別に臨時委員を置くことが出来る。

第四条

本委員会には必要なるに於て總會を置くことが出来る。

第五条

本委員会の正委員は

か二名を委員又は命ずる。

第六条

本委員会に正委員長一人、副委員長一人を置く。

第七条

委員長及び副委員長は委員より互選によりて定めらる。

第八条

委員長及び副委員長は任期は一年とする。但し重任することを妨げない。

第九条

委員長は委員長の職務を総理する。

第十条

本委員会に幹事及び書記を置く。幹事及び書記は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

第十一条

本委員会は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

第十二条

本委員会は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

第十三条

本委員会は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

第十四条

本委員会は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

第十五条

本委員会は委員長の承認を経て、幹事は委員長の指揮をうけて庶務を整理する。書記は幹事を補佐する。

純潔教育委員会委員

- 東京帝國大學教授 市川 篤二
- 性病予防協会理事 吉益 修夫
- 東京帝國大學助教授 大山 正
- 厚生省社会局福利課長 石橋 卯吉
- 厚生省予防局防疫課長 戸田 貞三
- 社会教育聯合会理事長 岸登 恒子
- 基督教婦人矯風会理事長 千原 道子
- 婦人運動家 伊藤 弄右
- 純潔協会 高島 米峰
- 評論家 安藤 畫一
- 慶応大學附屬病院婦人科長 植村 益藏
- 宗教家 徳永 惣子
- 双葉保育園長 久布白 落実
- 婦人運動家 高嶺 信子
- 双葉高等女学校長 須川 道夫
- 成蹊学園初等科長 定方 重代
- 大東学園病院院長 寺中 作雄
- 文部省社会教育課長 山室 民子
- 文部省視学官 村岡 花子
- 文部省 舘詠 寺本 慧達
- 中代田高等女学校長 山本 杉
- 医学博士 小空原 嘉子
- 母と学生の会

委員長

啓婚運動の先駆者

副委員長

性教育の研究三十年の權威者

救世軍司令官 岡女と多勢の預て更生に

貧民街の児童教育家

医学博士

トくら分才で放送する
学生と母の面談

基督教婦人矯風会理事長
 婦人運動家
 純潔協会
 評論家
 慶応大学附属病院婦科長
 宗政家
 双葉保育園長
 婦人運動家
 双葉高等女学校校長
 成蹊学園初等科長
 大東学園病院長
 文部省社会教育課長
 文部省視学官
 文部省嘱託
 千代田高等女学校校長
 医学博士
 母と学生の会
 内務省警備局公安第課長
 中学校長
 婦人運動家
 洗足高等女学校校長
 日本赤十字社産院院長
 中央社会事業協会理事長
 杉原病院長
 司法省少年保護司

岸登恒子
 伊藤存子
 高島水峰
 安藤 豊一
 植村 益藏
 徳永 惣子
 久布白 落実
 高嶺 信子
 清川 道夫
 定方 忠代
 寺中 作雄
 山室 民子
 村岡 花子
 寺本 慧達
 山本 杉
 小笠原 嘉子
 原 文無衛
 花本 十才
 河崎 乃
 前田 若尾
 久慈直太郎
 赤木 朝治
 杉原 錦江
 大平 工

委員長
 婦人運動の先駆者
 副委員長
 性教育の研究三十年の權威者
 救世軍司令官 用女子手廻り預て更生に
 女子のいのち
 貧民街の児童教育家

医一博

小くらがオで放送す
 学生と手廻り面倒み

法務省少年審判所勤務
 不良青少年取扱う十五年

発社一號

昭和二十二年一月六日

文部省社會教育局長

柴沼

直

殿

純潔教育の實施について

私娼の防止取締り等につき先般十月十四日の次官會議によつて別紙要綱の如く決定を見たが右要綱の中純潔教育の實施を中心目標とする二の及び四については先般の御留意の如き各地の特殊事情に應ずる具體策を立て、これを強力に實行せられるように通牒する。

尚この件に関し現在までに效果をあげてゐる事例があれば至急報告されたい。

記

一、要綱二の四の「子女の教育指導」に關しては右の様な點に留意すること。

（一）同等の人格として生活し行動する男女の間の一、道徳秩序をうち立てることが新日本建設の重要な基礎であることと強調すること。

（二）各都道府縣に於ける施設として既存の社會教育委員會を活用して、同題の専門會議を定期的な開催し、各地の放蕩、團體、組合等に対する巡回指導、講師の派遣、出版物、映画の推し、展示會、研究會の開催等につき統一的な活動を持續して行ふこと。

（三）純潔教育、性道徳の問題を中心とし、趣味と放蕩、運動と娯樂、同題をも含めて常設的な指導相談所が設けられるならば一層の效果が期待されるよう。

（四）いかに家庭教育に於いては單に子女の不良不善の行為を取締るといふ面にとどまることなく、むしろ子女自身の自主的な啓蒙進歩を期せんとし、同時に重點をおくと共に、これと並行して文部省自身も進んで教育の改善に努むべきである。

6 Jan 47

尚書件に關し現在すでに效果をあげている事例をあげて報告するに

一、要綱二の目的「子女の教育指導」に關しては尤も注意すること

一、同等の人格として生活し行動する男女の間正しき道徳秩序をうち立てることが新日本建設の重要な基礎であることと強調すること

二、右都道府縣に於ける施設として付託の社會教育委員會を活用して、同題の専門會議を定期的に開催し、若し其の専攻團體、組合等に対する巡回指導、講師の派遣、出版物、映画の推薦、展示會、研究會の開催等につき統一的な活動を持続して行ふこと

三、純潔教育、性道徳の問題を中心とし、趣味と教養、運動と娛樂、向題をも含めて常設的な指導相談所が設けられるならば一層の效果が期待されること

四、お母さん家庭教育に於ては單に子女の不良不善の行為を取締ることより、面にとゞまらざることなく、むしろ子女自身の自主的な啓蒙進歩を助けること、方に重點を置くこと共に、これと並行して父兄母姉自身の道徳意識の水準を早急に高めるようにつとめ、父兄の間からこの問題に關する特別會合の定期的な自発的に行はれるようにつとめること

五、特に青年團、婦人會、組合の青年部、婦人部等の横の連絡を密接にし、積極的な連合参加による一大運動を展開すること

六、接産婦の組合の設立にあたりては既に要綱一の目的に述べたやうに接産婦が自発的に設立するものたりしめ、指針に「組合員の経済的利益のみなならず衛生的又文化的向上を目的とするものたる様」に指導すること

七、組合の教養施設として別へば組合事務所内に各種教養圖書を備へつけ、同題の文章を設立し、又時々講座、講習會等を開く様一般的に趣味、教養の向上に努めさせること

二、要綱三の目的「文化活動の助成」に關しては次の様な點に留意すること

- 一、映画 出版物の改良については、中央に於いて夫々關係方面と協議を進め、各地方に於ては、右方面の關係者と研究懇談を重ねること
- 二、出版物、映画等の推广に關し、批判を活発にすると共に、往らには低調卑俗のものや、性的好奇心を刺戟するものに對して、子女育成上より主目的、民主的な批判が行はれるようにする

三) 学校、工場、青年團等に於て、その種目はなるべく集団的、大衆的なものを選び、その社
 奨励するようになり、その種目はなるべく集団的、大衆的なものを選び、その社
 會的、民主的な生活の向上を図ること
 四) 資料難、器具難を克服するため、各団体共同して材料、手、購入、製
 作等に當るよう研究協議すること

備考

本省に於いては、近々純潔教育に關する權威ある委員會の設置運
 用を以て、講師の養成、あわせて良書の選定、映画の製作など
 才等の計画を持つて、關係方面でも、このこととを念み、日本教育の
 企画實施をするよう、にお願いする。

私娼の取締並びに発生防止及び保護対策

(昭和三十一年十月十四日次官會議決定)

方針

公娼廃止の趣旨を徹底して接客婦の自由を拘束する諸制限を撤廃すると共に所謂「闇の女」の発生を防止する為次のような対策を講ずるものとす。

一、公娼廃止後の凡俗対策

- (1) 賈春行為を目的とする一切の雇傭契約並びに金銭消費貸借の無効であることを一般に徹底すること。
- 婦女と相手としてかような契約を為し、又は為さうとした者はこれを處罰するものとする。

- (2) 地方長官は賈淫の常習者で花柳病傳播の虞のある者に対し定期又は随時に健康診断を行ひ、傳染性疾患患者に対し強制治療を命ずること。
- (3) 賈淫者又は媒介者は賈淫の爲に部屋を供與することはこれを禁ずること。

(備考)

社會に已むを得ない悪として生ずるこの種行為については特殊飲食店等を指定して警察の特別取締に付させ、且つ特殊飲食店等は凡俗上支障のない地域に限定して集團的に認めよう。

- (4) 前記特殊飲食店等の地域に於ても接客に従事する婦女は酌婦又は女給等の正業を持たなければならぬものとする。

(備考) 公娼の廃止後には従来、貸座敷のよ様な業態は認め難い。

- (5) 藝妓・ダンサー、酌婦、女給等の接客婦の経済的、衛生的利益及び教養の向上発達を図ることを目的とした自主的な組合の結成及びその発展を図りこれに対し側面的な指導を加へる。

を命ずることか去来をもつとすること
 (3) 賣淫をなす又は賣淫の媒介者同賣淫の爲に部屋を供與すること
 此れを禁ずること

(備考)

社會に已むを得ない悪として生ずるこの種の行為につ
 いては特殊飲食店等を指定して警察が特別の取締に付させ、且つ
 特殊飲食店等は凡般に支障のない地域に限定して集團
 的に認めよう措置すること

(4) 前記特殊飲食店等の地域に於ても接客に從事する婦女は酌
 婦又は女給等の正業を持たなければならぬものとすること

(備考) 公娼の廃止後に於ては従来、貸座敷のような業態
 は認め難いこと

(5) 藝妓・ダンサー・酌婦、女給等の接客婦の経済的、衛生的利益及
 び教養の向上発達を図ることとを目的とした自主的な組合の結成及び
 その発展を図りこれに対し側面的な指導を加へること
 現在既に設立せられてゐる接客婦の組合で自主的でないもの又は不完
 全なものは前項に倣つて改組するよう指導すること

(6) 接客婦等の営利的な紹介はこれを禁止することとしてその媒介
 斡旋業に関する廳府縣令はこれを廃止すること

二、闇の女の発生防止及び保護対策

(1) 民生委員の活動を積極的にして貧困による賣笑婦への顕著な
 防止す爲に生活保護の徹底を図ること

(2) 主要都市その他必要の地に婦人福祉施設を設け、或は婦女、浮浪婦
 女その他警察に検挙された婦女等のうち更生見込のある者
 へ生活の根據を缺いてゐるものや收容保護しこの施設に於て正當
 生活の訓練、授産及び職業輔導等斡旋を行ひ、健全な勤勞
 による自立更生の途を樹てさせよう措置すると共に、病院その他
 必要の場合に相談指導員を派遣してこれら婦人の判別及び身上
 生活萬般の相談指導を實施しこれに基づいて適當な保護更生の方
 途を講ずること

(3) 子女の教育指導に依つて正しい男女間の交際の指導、性道徳の

昂揚を図る為次のような措置を講ずること

(1) 家庭に於ける子女の教育について積極的な関心を昂める為
母親学級、両親学級、父兄會等に於て子女の問題について
協議、懇談、指導すること

(2) 男女青年團等の幹部講習、幹部會等に男女の交際、結

婚その他問題について研究させること

(3) 接宍婦の組合に組合員相互の教養を昂めようとする施設を持たせ
ること

(4) 正しい文化活動を助成して青年男女の健全な思想を涵養するため

に次のような措置を講ずること

(1) 文化團體等の活動を促して情操教育等を旺にし一般婦女

に高い趣味と教養を興えることに努めること

(2) 映画、出版物の自覚と責任に於て映画、出版物の品位

を昂め従つて子女の性的好奇心を刺激するよう努めること

また関係者と懇談すること

(3) 学校、工場、青年團等の活動を促して青年男女に健全

な娯樂を奨励すること

(5) 闇の女の警察取締を強化すること、此の場合特に婦人警

察官を活用すること

検挙した婦女は親権者又は社会事業團體その他適當

ハ接居婦の組合に組合員相互の教養を昂めような施設を持たせ
ること

(4) 正しい文化活動を助成して青年男女の健全な思想を涵養するため
に次のような措置を講ずること

ハ文化團體等の活動を促して情操教育等を旺にし一般婦女
に高い趣味と教養を興えることに努めること

ハ映画、出版業界の自覚と責任に於て映画、出版物の品位
を昂め従らに子女の性的好奇心を刺戟するようない

よう関係者と懇談すること
ハ学校、工場、青年團等の活動を促して青年男女に健全
な娯樂を奨励すること

(5) 闇の女の警察取締を強化すること、此の場合特に婦人警
察官を活用すること

検挙した婦女は親権者又は社会事業團體その他適當
なものに引取らせること、特に婦人福祉施設の設けられぬ所
ではこれに引取らざることを建前とする

(6) 夜間特に警戒を要する地域内への婦人の単独立入りと自肅
抑制するよう一般の注意を喚起すること

(7) 一般婦女を「闇の女」へ誘惑し又はその媒介斡旋をする者を
嚴重に取締ること

純潔教育の主要項

文部省純潔教育委員会

男女間の道徳の低下 青少年の不良化 性病のまん延は 今や重大な社会問題となり 更に発展してわれわれ日本人全体の民族的な問題となりつゝあるが 元来この傾向は深く人間性に影響し 個人の心理と肉体と生活に根ざすばかりでなく 更に家庭 子孫 社会全体に浸透するものがあるから 一たん此の兆を見るときその改善には永い年月とたゆまぬ努力をもちも 尚容易ならざるものがあるが 将来の健全にして文化の香り高い新國家を建設するためには 純潔教育の道徳且徹底の普及によつて根本的に之を解決する必要がある よつて今後の純潔教育の方針並にその実施方策に關しては 特に左の諸項に留意し この教育活動が組織的にもかも恒久的に正しく発展するよう希望してやまないものである

一 純潔教育の目標

純潔教育は 單に所謂性教育の部面にとどまることなく 同時に一般道徳教育 公民教育 科挙教育 芸術文化教育との連関において凡そ左の表に目標を置き綜合的に推進すること
一 社会の純化を圖り男女間の道徳を確立すること
二 正しい性科学知識を普及し 性道徳の高揚を圖ること
三 レクリエーションを奨励し 健全な心身の発達と明朗な環境をつくることに努めること

四 宗教 芸術 其の他の文化を通じ 情操の陶冶 趣味の洗練をはかること

二 純潔教育実施の方針

一 直接の効果を要する問題は 至急に対策を講ずるものとするが 目先の一時的な計画のみに墮することなく 永年を要しても根本的に恒久的

対策を樹立して其の著実な効果を期待すること

二 家庭教育 社会教育 学校教育の三面から相協力して 相互に密接な連けいを保つこと

三 乳児期より純潔教育の実施を心かけると共に せしめ指導者たる教師

各団体の幹部

左の表に目標を置き総合的に推進すること
 一 社会の純化を圖り男女間の道徳を確立すること
 二 正しい性科学知識を普及し、性道徳の高揚を圖ること
 三 レクリエーションを奨励し、健全な心身の発達と明朗な環境をつくることに努むること

四 宗教 芸術 その他の文化を通じ、情操の陶冶、趣味の洗練をはかること
 二 純潔教育実施の方針
 一 直接の効果を要する問題は、至急に対策を講ずるものとするが、目先の一時的な計画のみに墮することなく、永年を要しても根本的に恒久的

対策を樹立してその著実な効果を期待すること
 一 家庭教育 社会教育 学校教育の三面から相協力して、相互に密接な連絡をはかり保つこと

二 乳児期より純潔教育の実施を心がけると共に、さし当り指導者たる教師、各団体の幹部、道徳者の教育に重点をおくこと
 三 純潔教育を行う場所
 一 家庭における教育については、先づ家族の生活を正しく、家庭内の空気を純潔教育にふさわしくせしめること

二 家庭及び社会両面の教育担当者である両親及び一般成人のための啓蒙を、公民館、父母と先生会、社会学級、各種講習等の社会教育施設を中心とし、労働組合、婦人団体、青年団体等の積極的な協力を要望して純潔教育の普及実践についての企劃をなすこと

三 学校におかれは、この問題に關する教師の認識を高めると共に、教育方法としては、特に純潔教育のみを取上げるのではなく、時宜にふれ、或は一般教科内容を通じて直接この教育を浸透するよう留意し、父母と先生会の、社会学級等を通じて、家庭、社会の教育に協力する

存在、学校において、ホームルームを利用して教師も生徒の間に理解を高められ、生徒自身の間に、秩序と洗練された気風が自ら養われ、まうに導くこと

四 純潔教育の方法
 一 純潔教育をなす年令、年令にこしては、個人差を考慮に入れ、且つ時と場合とを適確に個々に指導するものとし、原則として左の要領を適當とすること

人乳見期

乳児のおむつの当て方から 五 六才頃の男女の性別や 出産にまつての無邪気な懐問
を尋ねる時代を経て 成長する迄 常に両親をはじめに 家族が良識ある心でみて
責任をもて正しく導くこと

2. 学令期

学校に入ることからは 生活が急激に社会性を帯び 交友も複雑となり精神的肉体的刺
戟 変化もましてくるから 学校と家庭とは常に密接な連けいをはかること

3. 中学期

心身の発達と変化の著し、この時期は 精神的に知識 情緒の発達 新し経験に
対する魅惑のようさび 疑い 未知の事象に対する不安がれ その他さまざま
青年期に入ろうとする 活潑な欲求にみだされしている 生理的にも著しく変化
がある しかし 個人差の環境を充分考慮して 科学的な導びがなくてはならぬ
はいつまでもないが 同時に人間としての高さ 細微さを本人自身の自覚によ
り体得していくように 社会のさまざまな事象に對する 正しい批判と観察の芽を
伸ばし 或は精神的な悩みや変化に對しても 周囲の温かい庇護 はげましの本
人の勇気と自覚によつて 自律的に立派に伸びていくようにしむけること

(一) 細微教育の担当者

適確な立場にあるものは 誰でも担当者をもつて任すべきであるが 一般的に 特
大切な任務をもつ者として 次の人々がふさわしいこと

1. 両親及び兄弟姉妹

幼時から起居を共にし 最も自然に 愛情と信頼と責任をもつて導く上は 両親
兄弟及び適当な家族の任務はきわめて重要である 特に思春期の少年には父
兄が 少女には母 姉が概して適任であること

2. 教育者

教育家は性別 年令 地位等により分けられることなく、教育家の中からは 優
れた人とも適任者とする 未婚 離婚は原則的な条件ではないが 時と場合によつて

は既婚者がふさわしいこと

なお科目は 社会科 農業科(畜産) 理科(生物) 保健衛生(生理衛生) 体

育科 家庭科等の細微教育に關聯の深い教科内容から プラミッド式に一つの

教育目標にむかひて進むたてまえに 各担任講師の理解と協力を要する

3. 医師

人の意識と自覚によりて自律的に立派に伸びていくようにしむべきこと
純潔教育の担当者
正確な立場にあるものは、誰でも担当者をもつて責任を負うてあるが、一般的に特に
大切な任務をもつ者として次の人々をわきまをわしむこと
1. 両親及び兄弟姉妹
幼時より起居を共にし、最も自然に愛情と信頼と責任をもつて導く上、両親
兄弟及び適当な家族の任務はきわめて重要である。特に思春期の少年には父
兄が、少女には母、姉が概して適任であること
2. 教育者
教育者は性別、年令、地位等のみ促されることなく、教育対象の中より選ばれ
た人とも適任者とする。未婚、既婚は原則的な条件ではないが、時と場合による

は既婚者か否かわしむこと
なお科目は、社会科学、農業科(畜産)、理科(生物)、保健衛生(生理衛生、体
育科)、家庭科等の純潔教育に關聯の深い教科内容から、ピラミッド式に一つの
教育目標にむかひて進むたてまえに、各担任講師の理解と協力を要するべきこと
3. 医師
男女共、思春期から青年時代にわたつて科学的、専門的に正しく教育するため
は、特に性教育に造詣の深い医師、看護婦が極めて適任であること
4. その他
宗教家、文筆家、心理学者、友人、先輩等、適當な立場と機会と、この教育は親
意をもつ人は誰でも適任者であるが、又一面たとえ両親、教育者であつても、
個人として必ずしも純潔教育の最適任者とならぬ場合もありうること

実施の方法
純潔教育の内容の中、特に性教育の実施については、左の諸案に留意すること
1. 家庭におおそは雑談、愚話、その他機会を捉えて印象的に効果のあるもの
に導くこと
2. 子供の發育、動作は勿論、遊び、交友、着衣等、生活全般について両親はよく
見守り、悪い習慣や影響から守るために良識ある導き方をすること
3. 少年少女期に至るまでは、自然観察、動物を飼育、培養すること等により植物の
虫媒、風媒、人工媒介、開花、結実、魚類の産卵、孵化、家畜その他
動物の受胎、分娩、哺育等を学ぶ、最後に人間の生理に及ぶのか、女学とせられ
る、その間正しく用語を教へ、又科学的、客観的な態度を養わせるのが大切だ
らう、なお人間は理性、道徳、思考力を備へ、他の動物と異なることも当然充分
理解せしめるべきであること

4. 形式的劃一的に性教育をとりあげるのには最も危険であり、逆効果をはた
いたため、個人差、年令差については特に学校に於て技術的に慎重を期すること

5. 男女青年に対しては 講演会 展覧会 映画 博物館 圖書 パンフレット
 算を通して 正しい知識を普及すると共に 世相 社会問題等を通して批判力
 を養い 倫理性を高めるよう考慮すること

五、純潔教育上の意向

1. 男女の交際及び共学
 男女の交際は 自由であると共に 高い道徳心が培われてはじめて洗練され
 明朗化されることを認識し 幼時から 家庭生活において 争ふようにすること
 男女共学は 相互の人格を尊重し 理解し 正しい交際をもつためにより方
 法であるが 同時に又いかなる場合でも 礼儀と規律が必要とされている 特に
 今日のような わが國の過渡期的な状態にあつては 教育者や両親が常
 に注意深く 温かく導き 放置されることのないよう 注意すること
 2. 恋愛及び結婚について
 恋愛及び結婚に対する 観念 感覺は 純潔教育によつて洗練され高
 められべきである 又貞操は相互の利益のためのみ守るのでなく 自らの人格
 としと必要であり 男女相互の倫理であることを自覚するよう指導すること
 3. 未成年の飲酒と喫煙について
 未成年の飲酒と喫煙は 純潔教育上極めて深い関聯をもつてゐるので
 これに対する指導を怠らぬこと 現行の未成年者飲酒禁止法及未成年
 者喫煙禁止法が社会一般の自覚により よく遵奉され その目的が高揚さ
 れるよう努力すること

4. 性病の知識の普及について

性病が個人を不幸にするばかりでなく その蔓延は 社会を暗く不健全
 にし ひいては民族の衰亡をも招くものであることを理解させると共に その
 科学的知識を普及させること

5. 娯楽と趣味について

健全な娯楽 趣味の機会と便宜を興え 又和心を奨励し 身体を鍛
 磨し情操を陶冶を考慮すること 又映画 圖書 雑誌 演劇等について
 家庭は常に関心をもち 学校及び社会施設と呼応して 正しい方向に役立

3 未成年の飲酒と喫煙について
 未成年の飲酒と喫煙は、純潔教育に極めて深い関聯をもつてゐるが、
 これに對する指導を怠らぬこと、現行の未成年者飲酒禁止法及未成年
 者喫煙禁止法が社会一般の自覚によりよく遵奉され、その目的が高揚さ
 れるようにならねばならないこと
 4 性病の知識の普及について
 性病が個人を不幸にするばかりでなく、そのまん延は、社会を暗く不健全
 にし、ひいては民族の衰亡をも招くものであることを理解せせると共に、その
 科学的知識を普及せしめること

5 娯楽と趣味について
 健全な娯楽、趣味の機会と便宜を興え、スポーツを奨励し、身体の鍊
 磨と情操の陶冶を考慮すること、又映画、圖書、雑誌、演劇等に於いて
 家庭は常に関心をもち、学校及び社会施設と呼応して、正しい方向に役立
 てるよう、選取、見方、興元方等に於き、充分考慮すること

香川縣純潔運動委員會委員

所 属

1. 高松女子高等學校
2. 香川婦人協議會
3. 家事審判所
4. 高松地方裁判所
5. キリスト教
6. 明善女子高等學校
7. 香川縣教育委員會
8. 香川縣師範學校女子部
9. 香川縣議會
10. 香川郡浅野村青年會
11. 高松市二月會
12. 善通寺町婦人會
13. 大川郡志友町婦人會
14. 逓信労働組合香川縣支部
15. 國鉄労働組合香川縣支部
16. 香川縣醫師會
17. 小豆郡北浦村青年會
18. 水田郡北上村婦人會
19. 綾歌郡川津村婦人會
20. 三豊郡詫向町婦人會
21. 香川縣連合青年會
22. 東洋紡績三本工場
23. 倉敷紡績被工場
24. 倉敷紡績被工場

氏名

- 山西しかの
- 前川とみえ
- 太田あやの
- 小川 豪
- 檀村 正之
- 黒木 節
- 大西 義衛
- 森 きくの
- 前田 敬二
- 白石 定夫
- 川西 博
- 田山 八重
- 三浦 しず
- 一名(女子)組合に一任
- 一名(男子)組合に一任
- 田 淵 知己
- 湊 武慶
- 黒田 やす
- 山下 七子
- 安藤 五子
- 男女各一名 会に一任
- 一名(女子)工場に一任
- 一名(男子)工場に一任

- 12 善通寺町婦人会
- 13 大川郡志友所婦人会
- 14 通徳労働組合香川県支部
- 15 国鉄労働組合香川県支部
- 16 香川県医師会
- 17 小豆郡北浦村青年会
- 18 水田郡永上村婦人会
- 19 綾歌郡川津村婦人会
- 20 三豊郡詫向所婦人会
- 21 22 香川県連合青年会
- 23 東洋紡績三友工場
- 24 食穀紡績工場
- 25 高松市京浜所
- 26 高松市新湊所(四月二十六日)
- 27 坂本市日本医学研究所
- 28 縣政記者クラブ(大改新聞社支局)
- 29 高松放送局
- 30 香川県産業協会
- 31 香川県健康婦会
- 32 香川県立中央病院
- 33 国立少女の家
- 34 労働省労働少年局香川職員室
- 35 雑誌社
- 香川県教育委員会教育長 久保田英一
- 香川県衛生部長 大木林 誠
- 香川県警察委員会社会教育部長 小林健一
- 香川県衛生部予防課長 浜田豊博
- 香川県衛生部正課長 板井助次
- 民生部厚生課長 大坪勝美
- 児童課長 広瀬秀夫

- 田山八重
- 三浦 七子
- 一名(女子)組合員一任
- 一名(男子)組合員一任
- 田 淵 知己
- 湊 武慶
- 黒田 ヤス
- 山下 七子
- 安藤 五子
- 男 女 各一名 会員一任
- 一名(女子)工場員一任
- 一名(男子)工場員一任
- 角田 繁雄
- 八木 正和
- 入山 謙三
- 木村 俊士
- 長 谷 晴夫
- 野島 シカ
- 前谷 キミ
- 柏原 史見
- 三原 又工
- 稻毛 登代子
- 生駒 奉昭
- 教育委員会事務局 指導課
- 学事課
- 教育研修所
- 国家警察香川県本部防犯統計課長
- 書記 社会教育課 渡谷秀雄 中山 孝
- 予防課 坂口一良
- 医務課 細川 亨

二四第故委社第一三三号

昭和二十四年四月二十一日

香川縣教育委員会

教育長 久保田 英一

改

香川縣純潔運動委員会役員生部署決定について

香川縣純潔運動委員会の委員長、副委員長の選出については四月二日の結成会において協議した通りであるが、当日欠席者の不在投票も集計出来たので開票の結果を左記の通り委員長、副委員長が決定したので通知する。なお各委員の所属部についても希望を第一に考へ議程の事情を勘案して確定したので併せて通知する。就いては活潑な部会の活動を願う。

記

委員長

田淵 知己

副委員長

前川とみえ

所属部

一保健対策部

氏名

所属

並に住所

後藤 隼史

香川縣連合青年会

三豊郡仁尾町

野島 シカ

香川縣 産婆会

木村 俊士

縣政記者

高松市西淡町

前谷 ヌミ

香川縣保健婦会

入山 謙三

坂出市日本医学研究所

大西 義衛

香川縣教育委員会

高松市三條町

池内 豊一

倉敷紡績坂出工場

白石 定夫

香川郡浅野村青年会

黒木 節

明善女子高等学校

前屬部

一 保健対策部

氏名
 後藤 隼史
 野島 シカ
 木村 俊士
 前谷 大ミ
 入山 謙三
 大西 義衛
 池内 豊一
 白石 定夫
 黒木 節

副委員長

前川とみえ

二 社会教育対策部

長谷 晴男
 三浦 レイ
 三井 武慶
 田村 一世
 山西 レイ
 前川 とみえ

三 法的対策部

太田 あやの
 小川 豪
 田山 八重
 稲毛 登代子
 森 さくの
 前田 敬二
 柏原 笑見

四 社会事業部

所属

香川縣連合青年会
 香川縣 産婆会
 縣政記者
 香川縣保健婦会
 坂出市日本医学研究所
 香川縣教育委員会
 倉敷紡績坂出工場
 香川郡浅野村青年会
 明善女子高等学校

並に住居

高松市西淡町

高松市三條町

高松市天神前

仲多度郡琴平町

YMCA

高松放送局

大川郡志度町婦人会

小豆郡北浦村青年会

香川縣連合青年会

高松市 誠交会

高松高等学校

家事審判所

高松地方裁判所

少年審判所

労働省婦人少年局香川職員室

香川師範学校女子部

香川縣議會

香川縣立中央病院

高松市栗林町

善通寺町上吉田

1. Ministry of Education Instructions of Purification Education
2. Kagawa Prefectural Committee of Purification Education - Regulation and etc.

F 600

NHK ラジオの集い通信

14

25年5月の
番組と情報

松山中央放送局
高知・徳島・高松放送局

- (1) 録音放送の實施
 - (2) 表彰状及獎勵金の授與
 - (3) 巡回慰問の實施
- なお回数集い記録書の到着数による。

【最近の情報】

二五年度ラジオの集い普及計画をまとめる

愛媛縣教育委員会、愛媛縣生産農業協同組合連合會及び松山中央放送局では去る十一日松山スポーツハウスで「二五年度のラジオの集い普及計画」に關する打合せ會を開催しましたが、要約次のとおり決定をみました。

一、モデルグループの設置について
縣下に次の五團體をモデルグループとして指定、相當の輔導と助成を行つて、他グループのモデルとして養成し、集いの自主的利用の機運をしようせしめる。輔導としては資料の優先配付、年五回の研究大會開催等助成としては當面の處置として、録音放送の優先的取扱、助成金研究會補助金等の交付を考慮、NHKラジオ新聞の贈呈等が計画されている。

(モデルグループ名)

下朝倉公民館(越智郡) 八坂公民館(松山市)
上灘町文化協會(伊豫郡) 吉田町公民館(北宇和郡) 御莊町公民館(南宇和郡)

二、成人教育講座への活用

毎週金曜日午後七時半からのローカル放送(特に第一金曜日)を利用して成人教育講座向の番組を送り、各町村成人教育講座課程習得のために利用されるよう勸奨並に輔導を行う。内容は地方自治、民主主義研究、經濟等で、利用については關係方面、教育當局の了解を得ており、援助も約されている。

三、獎勵制度について

ラジオの集いが自主的に開かれる事を獎勵するために、ラジオの集いの實施回数が多い團體に對し次のような獎勵制度を設ける。

の番組

この番組は出演者などの都合で變更されることがありますので、各放送局週間確認

- 曜日のローカル及火曜日の郷土の手帳を利用し、月一團體乃至二團體程度行う。
- 七、其他
- イ、年度内に一回ブロック別の指導者養成講習會を開く
- ロ、新に集い向週間確定番組の放送を毎週金曜日の愛媛の時間にも行う。
- ハ、資料シリーズの充實をはかる。(十六日放送)

ハガキ式の記録

集い向放送でたびたびお知らせしましたが、ラジオの集いの記録書をハガキ型式に改め、處理の

簡素化をはかることになりました。これはみなさんの活動状況を調査する貴重な資料とし更に表彰等の場合の資料ともなるもので社會教育團體、農業團體にはそれぞれの機構を通じお送りしております。(教育事務所、農協等)

「若い女性」について

NHKでは十代の若い女性に娯樂と教養を興える番組として四月から「若い女性」を第二放送日曜日の前九、三〇から放送しております。内容は心の養いになるもの、考える力を養うもの、實際生活に役立つものにつき雑誌のような型式で送るもので、NHKではこれをラジオの集いによつて勉強するかたわら、編集上の意見を提供して頂くようお願いしております。松山中央放送局では中等學校の自由研究として推奨するよう計畫中

第一回のモデル研究會

普及計畫によるモデルグループの第一回研究會は去る二十八日下朝倉で皮切りされ、五月は上旬が上灘文化協會、中旬が吉田及御莊の兩公民館となつております。

一四	時々刻々移り變る社會の動きをとらえ、問題の要点を解説する	街頭録音	火後、九一五から
二一		労働の時間	火後八、〇〇から
二八		社會の窓	水後八、〇〇より
教育放送			
四	木平和への道	學生の時間	2、日―土後六、三〇(木曜の研究)
一一	古典の新しいさ		
一八	わたしの尊敬する人		
二五	語學の目的		
ラジオ民衆學校 土、後六、一五			
文化講座 2、月―金 后九、四五			
一―五月―金 明治維新とは何か 大久保利謙			
七	日 インタビュー「食生活の合理化」	若い女性	2、日 前九、三〇より
一四	座談會「母と娘のかたらい」		
二一	座談會「女の弱点はどこにあるか」		
二八	座談會「政治家に何を望むか」		
主婦日記 月―土 前九、一五より			
農事放送			
新しい農村 月 后、八、〇〇より			
人権擁護委員はどんな事をするのか			
ローカル各年の番組の整理			

Received on 23 May 1950 at Elkins

聞の贈呈等が計画されている。
(モデルグループ名)
下朝倉公民館(越智郡) 八坂公民館(松山市)
上灘町文化協会(伊豫郡) 吉田町公民館(北宇和郡) 御庄町公民館(南宇和郡)
二、成人教育講座への活用
毎週金曜日午後七時半からのローカル放送(特に第一金曜日)を利用して成人教育講座向の番組を送り、各町村成人教育講座課程習得のために利用されるよう奨励並に補導を行う。内容は地方自治、民主主義研究、経済等で、利用については関係方面、教育当局の了解を得ており、奨励も約されている。
三、奨励制度について
ラジオの集いが自主的に開かれる事を奨励するために、ラジオの集いの実施回数が多い団体に對し次のような奨励制度を設ける。

5月の番組

この番組は出演者などの都合で変更されることがありますので、各放送局週間確定番組表を放送又はNHKラジオ新聞でお確かめ下さい。

日曜	内	容	放送者
七	放送討論會	日、後一、〇〇より	憲法は社会生活の中に生かされ法制局長官 佐藤達夫外
一四	未定		
二一	時事問題		
二八	未定		
七	ラジオ座談會	木、後七、三〇より	早大教授 戒能通孝他 第一銀行調査部長 中小企業局長官
一四	木民主主義と多数決		
二一	滞貨をどう處理するか		
二八	時事問題		
二五	未定		
七	國會討論會	日、後六、〇〇	各黨代表(毎回五人を原則とする)が集まり先週の國會における本會議又は委員會議の議題を中心として討論解説する。休會中は先週のニュースから
一四	未定		
二一	未定		
二八	未定		
七	時の動き	日、後八、三〇より	

勤勞婦人の時間	婦人向放送	教育放送	街頭録音	労働の時間	社会の窓	文化講座	ラジオ民衆学校
二九 月 監私はこんな人に投票する	一 月 つて	四 木 平和への道	二八 街頭録音	二八 労働の時間	二八 社会の窓	二八 文化講座	二八 ラジオ民衆学校
二六 金 インタビュ(生活普及員と語る)	二 火 インタビュ「すべての子供を幸福に」	一 古典の新しいさ	二九 街頭録音	二九 労働の時間	二九 社会の窓	二九 文化講座	二九 ラジオ民衆学校
二五 木 インタビュ(動物と子供)	三 水 憲法の話	二 古典の新しいさ	二〇 街頭録音	二〇 労働の時間	二〇 社会の窓	二〇 文化講座	二〇 ラジオ民衆学校
二四 水 座談會「出しやばりと引退案」	四 木 インタビュ「平和への希い」	一 古典の新しいさ	二一 街頭録音	二一 労働の時間	二一 社会の窓	二一 文化講座	二一 ラジオ民衆学校
二三 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	五 水 インタビュ「独占事業は何故わるいか」	二 古典の新しいさ	二二 街頭録音	二二 労働の時間	二二 社会の窓	二二 文化講座	二二 ラジオ民衆学校
二二 水 座談會「出しやばりと引退案」	六 木 インタビュ「主婦の健康をどうして守るか」	三 古典の新しいさ	二三 街頭録音	二三 労働の時間	二三 社会の窓	二三 文化講座	二三 ラジオ民衆学校
二一 火 インタビュ「生活普及員と語る」	七 水 インタビュ「主権の意見を発表しよう」	四 古典の新しいさ	二四 街頭録音	二四 労働の時間	二四 社会の窓	二四 文化講座	二四 ラジオ民衆学校
二〇 月 監私はこんな人に投票する	八 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	五 古典の新しいさ	二五 街頭録音	二五 労働の時間	二五 社会の窓	二五 文化講座	二五 ラジオ民衆学校
一九 日 監私はこんな人に投票する	九 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	六 古典の新しいさ	二六 街頭録音	二六 労働の時間	二六 社会の窓	二六 文化講座	二六 ラジオ民衆学校
一八 日 監私はこんな人に投票する	一〇 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	七 古典の新しいさ	二七 街頭録音	二七 労働の時間	二七 社会の窓	二七 文化講座	二七 ラジオ民衆学校
一七 日 監私はこんな人に投票する	一一 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	八 古典の新しいさ	二八 街頭録音	二八 労働の時間	二八 社会の窓	二八 文化講座	二八 ラジオ民衆学校
一六 日 監私はこんな人に投票する	一二 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	九 古典の新しいさ	二九 街頭録音	二九 労働の時間	二九 社会の窓	二九 文化講座	二九 ラジオ民衆学校
一五 日 監私はこんな人に投票する	一三 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一〇 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
一四 日 監私はこんな人に投票する	一四 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一一 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
一三 日 監私はこんな人に投票する	一五 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一二 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
一二 日 監私はこんな人に投票する	一六 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一三 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
一一 日 監私はこんな人に投票する	一七 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一四 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
一〇 日 監私はこんな人に投票する	一八 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一五 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇九 日 監私はこんな人に投票する	一九 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一六 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇八 日 監私はこんな人に投票する	二〇 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一七 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇七 日 監私はこんな人に投票する	二一 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一八 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇六 日 監私はこんな人に投票する	二二 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	一九 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇五 日 監私はこんな人に投票する	二三 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二〇 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇四 日 監私はこんな人に投票する	二四 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二一 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇三 日 監私はこんな人に投票する	二五 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二二 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇二 日 監私はこんな人に投票する	二六 木 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二三 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇一 日 監私はこんな人に投票する	二七 火 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二四 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校
〇〇 日 監私はこんな人に投票する	二八 水 インタビュ「政治に参加する権利と義務」	二五 古典の新しいさ	三〇 街頭録音	三〇 労働の時間	三〇 社会の窓	三〇 文化講座	三〇 ラジオ民衆学校

趣味の番組	農事放送	主婦日記	若い女性	座談會	若い女性
一七 邦楽名曲選	一 月 人権擁護委員はどんな事をするのか	一 主婦日記	一 若い女性の心の養いになるもの	二八 座談會「政治家に何を望むか」	二八 若い女性
一六 NHKシンフォニーホール	二 月 農業改良普及制度と生活改善普及制度	二 主婦日記	二 活に役立つものを養うもの、實生活に役立つもの、などについて	二九 座談會「政治家に何を望むか」	二九 若い女性
一五 ラジオ小劇場	三 月 農業金融の最近の動き	三 主婦日記	三 空飛ぶ雑誌というべきもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
一四 世界の名作	四 月 漁業権はどんな順位で	四 主婦日記	四 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
一三 放送川柳相撲	五 月 農村と国民健康保険	五 主婦日記	五 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
一二 ローカル番組	六 月 農村と国民健康保険	六 主婦日記	六 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
一一 縣民のみなさま	七 月 農村と国民健康保険	七 主婦日記	七 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
一〇 農家のしおり	八 月 農村と国民健康保険	八 主婦日記	八 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇九 ラジオ人生教室	九 月 農村と国民健康保険	九 主婦日記	九 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇八	一〇 月 農村と国民健康保険	一〇 主婦日記	一〇 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇七	一一 月 農村と国民健康保険	一一 主婦日記	一一 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇六	一二 月 農村と国民健康保険	一二 主婦日記	一二 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇五	一三 月 農村と国民健康保険	一三 主婦日記	一三 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇四	一四 月 農村と国民健康保険	一四 主婦日記	一四 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇三	一五 月 農村と国民健康保険	一五 主婦日記	一五 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇二	一六 月 農村と国民健康保険	一六 主婦日記	一六 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性
〇一	一七 月 農村と国民健康保険	一七 主婦日記	一七 科学的に家庭生活技術の向上をはかり具体的な日常の問題を通して主婦の頭の切り替えをし生活の合理化をはかるもの	三〇 座談會「政治家に何を望むか」	三〇 若い女性

NHK

ラジオの集い通信

15

25年6月の番組と情報

松山中央放送局 高知・徳島・高松放送局

【最近の情報】

青年団体向の時間設置

NHKでは婦人の時間に匹敵する青年の時間を設けてほしいという全国青年グループの要望にこたえた次の二番組をおくり出すことになった。いずれも集い向番組として、青少年グループの活用がまたれているが、このうち「若い農民」は既に放送中である。

▼「若い農民」

毎週日曜日第二放送午後六時半から三十分間、グループを組織した農村青少年を対象として各自の農事上、家事上の習慣、能力をきたえ知性や道義心を高めまた公民として社会への資格を立派に育て上げるように力を盡すようなグループ組織の発展育成に協力し、引いては農村の発展向上に資する番組で権威者との対談、劇などの形で送り出し、レクリエーションも挿入される。農村青少年のグループ特に4Hクラブの集いなどに好適。

▼青少年の時間

六月三日から新設されるもので毎週土曜日の午後六時半から三十分間(第二放送)放送される。内容は青少年の教養向上に資するもので社会、文化のあらゆる面にふれる。

愛媛県のモデル研究会

それぞれ第一回を終了

愛媛県教育委員会、社会教育プランによる県下五つのモデルグループの運営に関する研究会は、舎屋落成記念行事で忙殺されている松山市八坂公民館をのぞいてひととおり終了した。これ等の研究会には各教育事務所、県教育委員会及び松山中

1 研究会の状況

五月四日午後七時から、町内私宅で開会、出席者は四十六名、このうち四分の三が婦人會關係始めに教委會からモデルグループ設置の事由と今後の輔導助成方法について説明、運営方法について協議、午後七時半中斷、放送聴取(座談會、多数決の政治)討論を行い討論一時間の後再び全員で運営について協議會合は三十余名の婦人を數え、町關係の有志も集つて、文化會長古田氏の司會ですゝめられたが、にぎやかであつた、討論は婦人の發言に重點がおかれたが多人數のため一部の發言しか見られなかつた。しかしながら、つとめて發言しようとした、このような會合にたびたび出席して勉強しようとする意欲は充分見受けられた。

2 今後の運営

毎月一回から二回、部落毎の小人數の會をもち年五回のモデル研究会の際は各部落代表が集つて討論の實地研究と運営研究をかねて行う(吉田町公民館—北宇和郡)

1 研究会の状況
五月十八日午後〇時半から教育事務所會議室で開會、出席者は二十數名でこのうち婦人會關係者が半數、なほ午後八時から別に幹部が集合して運営に關する協議が行われた。
聴取放送は午後一時からの婦人の時間で「主婦の意見を發表しましょう」討論は婦人會を中心に行い、男子幹部は見學批判の立場をとつた。この會は宇和島放送分局と特別な關係をもつ、吉田町ラジオの會として組織せられた成人の集り、會の運行も雰囲気も獨特のほいと円熟さをもつたグループであるが晝の會は放送番組の關係上婦人會のみの討論に限定したため充分な討論とならなかつた、しかしラジオの會關係の婦人で活潑な意見の發表を行うものも若干見られまず初歩の練習程度

2 今後の運営 (御莊町公民館—南宇和郡)

1 研究会の状況
五月一九日、午後八時から、御莊町の私宅で開會、出席者は約二十名で、婦人が中心教委會からモデルグループの設置について説明を行い、まず運営の方法について協議次に九時十五分からのローカルキャンペーン「人權擁護」をめぐつて實地研究を行つた。
婦人會が中心になつて、討論をたしかわしたが放送による智識の吸収と研究的な討論への發展

六月の番組

この番組は出演者などの都合で變更されることがありますので、各放送局週間確定番組豫告放送又はNHKラジオ新聞でお確かめ下さい。

日	曜	種	目	内	容	放	送	者
一	木	後	一、〇〇	婦人の時間	「私の村の生活改善」			中谷キシ子
二	金	後	七、三〇	座談會	新しい時代の女性に望むもの			田中みね子 堀江いち外
三	土	後	六、三〇	ローカル キャンペーン				青年 の時間

の發展向上に資する番組で権威者との對談、劇などの形で送り出し、レクリエーションも挿入される。農村青少年のグループ特に4Hクラブの集いなどに好適。

六月三日から新設されるもので毎週土曜日の午後六時半から三十分間(第二放送)放送される。内容は青少年の教養向上に資するもので社會、文化のあらゆる面にふれる。

愛媛縣のモデル研究会

それぞれ第一回を終了

愛媛縣教育委員會、社會教育プランによる縣下五つのモデルグループの運営に關する研究会は、舎屋落成記念行事で忙殺されている松山市八坂公民館をのぞいてひととおり終了した。これ等の研究会には各教育事務所、縣教育委員會及び松山中央放送局から夫々係員が出席して運営上の助言を與えたが、會の状況及び今後の運営指針は次のとおりである。

(下朝倉公民館—越智郡)

1 研究会の状況
四月二十八日午後〇時半から越智郡下朝倉中學校で開會、参加人員二十三名
始めに簡単なあいさつがあつて直ちに放送聴取(午後一時からの婦人の時間産兒制限) 研究討論に入る。討論後は団体幹部の間でモデルとしての今後の運営を協議

出席者の大半は若い人たちで、婦人の顔も多數見え熱心さのあふれた會合であつた。司會は青年團の近藤氏が行つたが會の進行殊に放送で得た概念に對する討論でのつゝこんだ研究がてぎわよく行われていた、また若い婦人の考え方や意見の發表がしつかりしていたのは特記に價する。

2 今後の運営

モデルグループとして先ず各人が出来るだけたびたび會に出席して、意義のある會の運営方法を見出し討論に習熟するため、當日の會に出席した青年のグループを中心に二十名程度の「ラジオの集い」研究グループを組織し會長を中學校長に委しよくして一、二回の實地研究を行なほ企畫については教育事務所の菅氏が輔導にあたる。

(上灘町文化協會—伊豫郡)

(吉田町公民館—北宇和郡)

1 研究会の状況

五月十八日午後〇時半から教育事務所會議室で開會、出席者は二十数名でこのうち婦人會關係者が半数、なほ午後八時から別に幹部が集合し

六月の番組

この番組は出演者などの都合で變更されることがありますので、各放送局週間確定番組預告放送又はNHKラジオ新聞でお確かめ下さい。

らモデルグループの設置について説明を行い、まず運営の方法について協議次に九時十五分からのローカルキャンペーン「人權擁護」をめがつて實地研究を行つた。婦人會が中心になつて、討議をたゝかわしたが放送による智識の吸収と研究的な討論への發展

日	曜別	時間	種目	内容	放送者
一	木	1後	婦人の時間	「私の村の生活改善」	中谷キシ子
二	金	1後	座談會	新しい時代の女性に望むもの	田中みね子 堀江いち外
三	土	2後	青少年の時間		
四	日	1後	放送討論會		
四	日	2後	若い農民	(1) クラブ活動の實際(一)(クラブ活動の目標) (2) 4Hクラブ紹介	農林省青少年係 小川英太郎
五	月	1後	新しい農村	二十五年産産米麥の供出と供出價格について	
六	火	1後	婦人の時間	「病氣の話」	
七	水	1後	明るい生活		
七	水	2後	學生の時間	研究と討論 「性格は變えられるか」	慈恵醫大講師 竹内恒壽
八	木	1後	婦人の時間	「母と子の病氣」	
八	木	2後	社會の窓	農業協同組合をどう建置すか	河野謙三、直坂武夫、 近藤康男、岡野信夫
九	金	1後	座談會	「地方政治を見守りましょう」	山本千枝子
九	金	2後	婦人の時間	對談	
一〇	土	1後	新しい道		
一〇	土	2後	青少年の時間		
一一	日	1後	放送討論會	墮胎罪は禁止さるべきか	馬島開又は式場隆三郎 久米愛子、小林珍雄
一一	日	2後	時の動き	生活の頁 「アメリカ少女の生活」	
一二	月	1後	若い女性	働く人の寮をたずねて	
一二	月	2後	勤勞婦人の時間	(1) クラブ活動の實際(二)(クラブ活動は何をとり上げるか) (2) 4Hクラブ紹介	熊田英子

F
600HEADQUARTERS I CORPS
AFO 301 (Kyoto, Honshu)

RSA/mth

16 December 1948

AG 000.8 - BA

SUBJECT: I Corps Plan for the Organization of Adult Education Course

TO: See Distribution

1. Purposes and Description of Adult Education Course

a. In order to educate the masses of people in democracy so that they will understand their rights and responsibilities as citizens of the new Japan, and so that they will become a force for democracy, this headquarters has prepared for widespread use in every prefecture of I Corps plans and outlines for a course of study on the "Principles and Processes of Democracy." The course is designed to be a very simple presentation and discussion of the reasons for democracy, aimed at the little man, the farmer and the fisherman in the towns and villages, not yet reached by schools or conferences.

b. The course is planned to meet two periods a week, each period to extend one to one-and-a-half hours and the total course to cover approximately 20 periods. Each period should be an entity in itself so that people may join the course at any time, and receive the full benefit from those classes which they attend. The scope of the course should include the democratic reforms in each of the six fields of specialty in military government: legal and Government (6 lessons), Economics and Labor (4 lessons), Public Health (3 lessons), Public Welfare (2 lessons), Civil Education (3 lessons), and Civil Information (1 lesson). Suggested lesson outlines in each field, prepared at I Corps Headquarters, are enclosed as a guide in setting up the course. Prepared lectures and film analyses in English and Japanese are enclosed.

c. The team's responsibility will be to suggest sites throughout the prefecture for the course and to assist in the training of the discussion leaders for it. A strong publicity program should be stimulated by military government to get the largest possible participation of citizens as leaders and participants. It is anticipated that the program will require several hundred courses in different localities in each prefecture and the training of an equal number of discussion leaders.

2. Administration

a. Under the supervision of the newly-elected prefectural School Board, the Social Education Section of the prefectural education department should be responsible for the planning and administration of the course.

BASIC: Ltr, 4q I Corps, subj: "I Corps Plan for the Organization of Adult Education Course," dated 16 December 1943, cont'd

This will include financial controls, selection of sites and their maintenance, selection and training of speakers and discussion leaders, publicity and information. To assist in the latter it is suggested that the School board set up an advisory "Adult Education Council." Members should be representative men and women in the six specialized fields selected from organizations already interested in this type of adult education such as the following:

- Local Autonomy Dissemination Associations
- Citizens' Public Halls
- Civil Liberties Unions
- Parent-Teachers Associations
- Coordinating Councils
- Teachers Unions
- Other Unions

b. This Council should be advisory to the School Board on such matters as application of the outline to local needs, community reaction to it, evaluation of the results, and encouragement of participation by community leaders as discussion leaders.

3. Finance

a. The adult education course should make use of Ministry of Education subsidies granted to prefectures for holding Shakai Gakyu, or community classes for adults, and any other community funds for adult education which are available. Ordinarily, it should not tap the regular school budget. Where necessary, supplementary budgets may have to be approved by prefecture or local assemblies. However, costs should be kept to a minimum; volunteer services should be used for all supervision, training, and instruction; and already-established facilities (such as schools, Citizens' Public halls, etc) should be used as classrooms wherever possible.

4. Discussion Leaders

a. Since the success of the whole course depends on the skill of the discussion leaders, the section chiefs in military government, under the chairmanship of the civil education officer, should plan with the Social Education Section a training program for discussion leaders throughout the entire prefecture. It is suggested that as a means of preparing discussion leaders for their job the Social Education Section set up a demonstration course in the capitol to which they will be invited for at least one session to observe techniques of conducting the course before they begin their local courses. These leaders should be selected from school teachers at any level, recently trained youth and adult group leaders, (from Mr. Typer's Youth

BASIC: Ltr, Hq I Corps, subj: "I Corps Plan for the Organization of Adult Education Course," dated 16 December 1948, cont'd

Leadership Course and others), or from other interested citizens who are willing to volunteer their services and who know discussion techniques. The discussion leader can then call in to assist him in giving the course local specialists who can serve as consultants to give the major presentations and answer questions. It is hoped that the classes can be held down to 30-50 persons to permit active participation by all. If groups promise to be larger, they might all be subdivided into discussion groups of 30 or so after the major presentation and showing of film.

5. Method of Presentation

a. As per attached suggested lesson outlines, each class should begin with a short, simple presentation of the major problems in a specific field by the discussion leader or specialist-consultant. The consultant should be especially warned to key his presentation roughly to a 14-year old intelligence. This should last from 15 to 20 minutes. When possible it should be followed by a 20-30 minute motion picture, film strip, radio drama, kamishibai, a locally presented skit, or a panel discussion to illustrate the problems under consideration. All resources of the prefectural film library should be placed at the disposal of this program. Open discussions should then follow under a trained discussion leader for 20 to 30 minutes, consisting of challenging questions on both major presentation and the film or skit used to illustrate the subject. The leader should summarize at the end, the major learnings in the field, together with outstanding conclusions reached in the discussion. This discussion period should be made the most important part of the meeting and should be carefully planned to achieve the greatest possible participation and learning. Suggested lesson outlines, together with talks to be given in the major presentation, and lists and analyses of films to be used, are enclosed.

6. Timing

a. The course should be started at the earliest practicable date depending on the local situation. Target date, weather permitting, should be about 1 February 1949. Throughout the prefecture there should be staggered beginnings for the course and varied sequences of lessons to make fullest possible use of film or film-strip materials. Careful course planning and preparation of discussion leaders in the early lessons should have been accomplished before the course is allowed to begin.

7. Suggested Sites for Course

a. Every lower secondary school and active citizens' public hall are recommended as appropriate sites for the course. The exact places should be selected by the Social Education Section and the list forwarded to this headquarters by 10 January, 1949.

BASIC: Ltr, Hq I Corps, subj: "I Corps Plan for the Organization of Adult Education Course," dated 16 December 1948, cont'd

8. Discussion Techniques

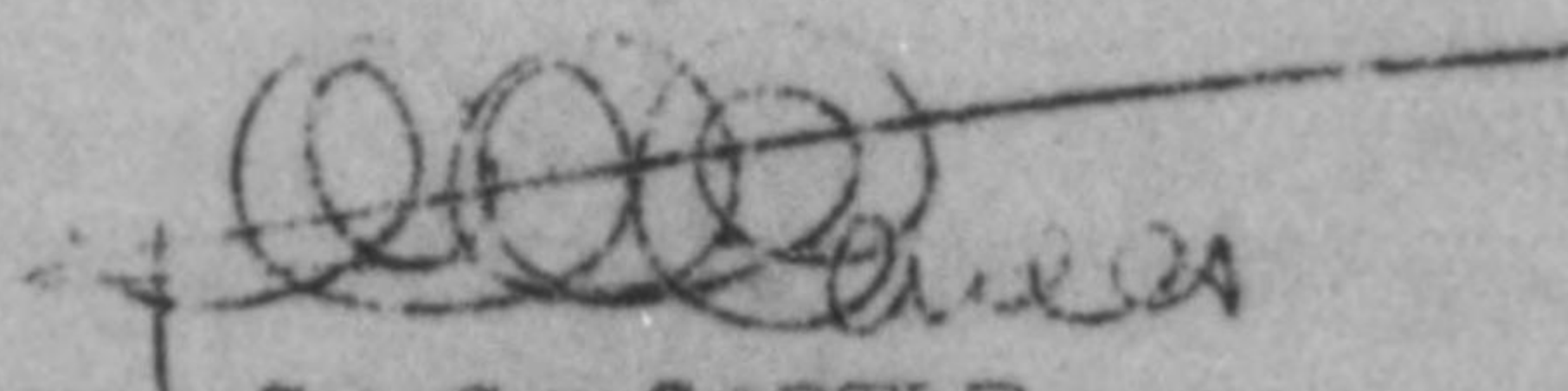
a. Suggest use of panel, forum, town hall, and other discussion techniques at all meetings. See description of panel technique in English and Japanese sent out from this headquarters in C&E News Letter, dated 24 June 1948. Recommend that MG bring this to the attention of the Social Education Section as a basis for the training of all discussion leaders.

9. Reports

a. Starting with the February reporting period, teams will include in Annex E of the Monthly Activities Report figures on (1) the total number of sites where course is held, (2) total number of sessions held during the month, and (3) total attendance at all sessions (sum of attendants at different meetings, e.g., a class of 20 people meeting 6 times would equal total attendance of 160).

BY COMMAND OF MAJOR GENERAL SWING:

Incls: Introductory lecture, with questions, and 19 lesson outlines, major presentations, and film analyses (all in English and Japanese).
Info Program Adult Educ Course


C. C. CARTER
Colonel, AGD
Adjutant General

DISTRIBUTION:

2 ea MG Reg & Teams
I Corps Z/R
2 AG Rec, I Corps